

# 決算説明会

## 2026年3月期 第2四半期

ミネベアミツミ株式会社

2025年11月6日

- 1. 決算概要と業績予想**
- 2. 事業概況と経営戦略**

# 決算概要と業績予想

取締役 社長執行役員 COO & CFO

吉田 勝彦

## 売上高、営業利益とも計画を上回る

| (億円)                  | 2025年3月期 | 2026年3月期 |       | 前年同期比<br>伸び率 | 前四半期比<br>伸び率 |
|-----------------------|----------|----------|-------|--------------|--------------|
|                       | 2Q       | 1Q       | 2Q    |              |              |
| 売上高                   | 4,228    | 3,669    | 4,114 | -2.7%        | +12.1%       |
| 営業利益                  | 279      | 174      | 270   | -3.3%        | +54.6%       |
| 税引前利益                 | 178      | 156      | 248   | +39.4%       | +59.0%       |
| 親会社の所有者に帰属する<br>四半期利益 | 119      | 109      | 177   | +48.4%       | +62.5%       |
| 基本的1株当たり<br>四半期利益 (円) | 29.53    | 27.12    | 44.07 | +49.2%       | +62.5%       |

| 為替レート | 2025年3月期 | 2026年3月期 |         |
|-------|----------|----------|---------|
|       | 2Q       | 1Q       | 2Q      |
| US\$  | 154.16円  | 146.16円  | 146.33円 |
| ユーロ   | 167.59円  | 162.02円  | 169.94円 |
| タイバーツ | 4.29円    | 4.36円    | 4.50円   |
| 人民元   | 21.30円   | 20.14円   | 20.39円  |

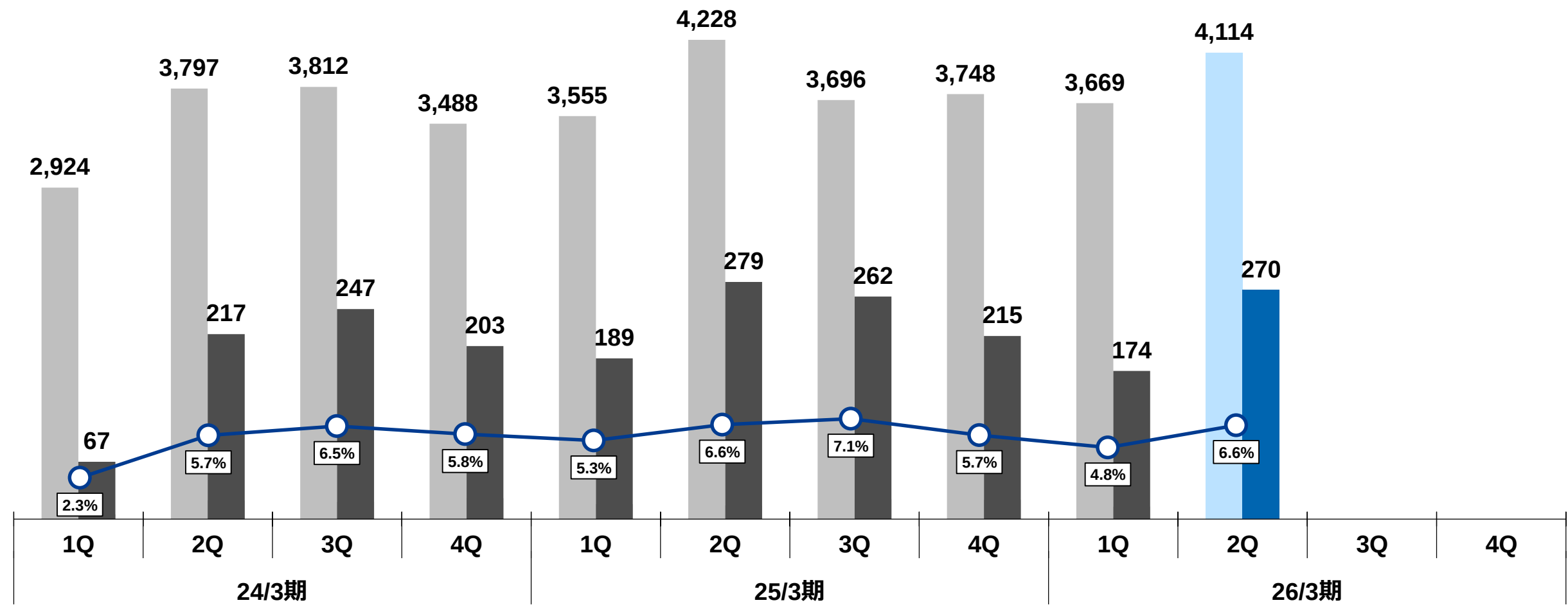
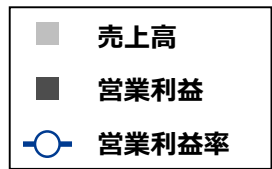
**売上高は上半期として過去最高  
当期純利益は前年同期比で増加**

| (億円)                 | 2025年3月期<br>上半期 | 2026年3月期<br>上半期 | 前年同期比<br>伸び率 | 2026年3月期 上半期  |       |
|----------------------|-----------------|-----------------|--------------|---------------|-------|
|                      |                 |                 |              | 8月予想(ベースシナリオ) | 達成率   |
| 売上高                  | 7,782           | 7,783           | +0.0%        | 7,745         | +0.5% |
| 営業利益                 | 468             | 444             | -5.1%        | 425           | +4.4% |
| 税引前利益                | 360             | 404             | +12.1%       | 405           | -0.3% |
| 親会社の所有者に帰属する<br>当期利益 | 251             | 286             | +14.0%       | 300           | -4.7% |
| 基本的1株当たり<br>当期利益 (円) | 62.05           | 71.18           | +14.7%       | 74.70         | -4.7% |

| 為替レート | 2025年3月期<br>上半期 | 2026年3月期<br>上半期 |
|-------|-----------------|-----------------|
| US\$  | 153.65円         | 146.25円         |
| ユーロ   | 166.52円         | 165.98円         |
| タイバーツ | 4.25円           | 4.43円           |
| 人民元   | 21.23円          | 20.26円          |

# 売上高、営業利益、営業利益率

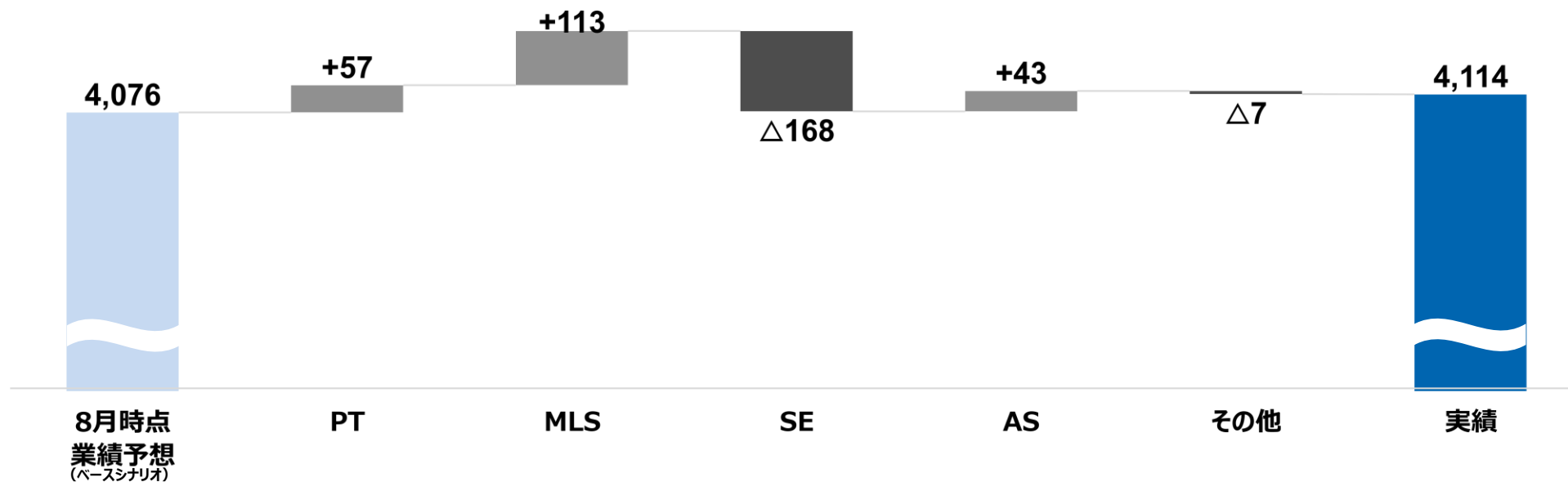
(億円)



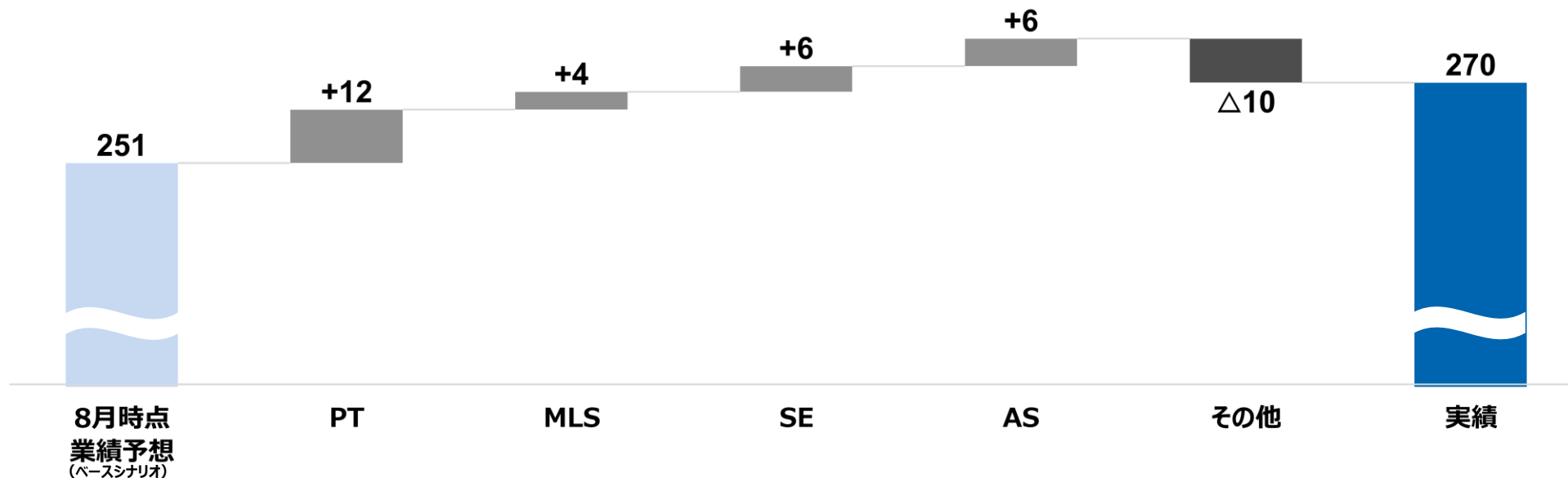
# 2Q実績 前回予想（2025年8月5日）からの差異

(億円)

## 売上高

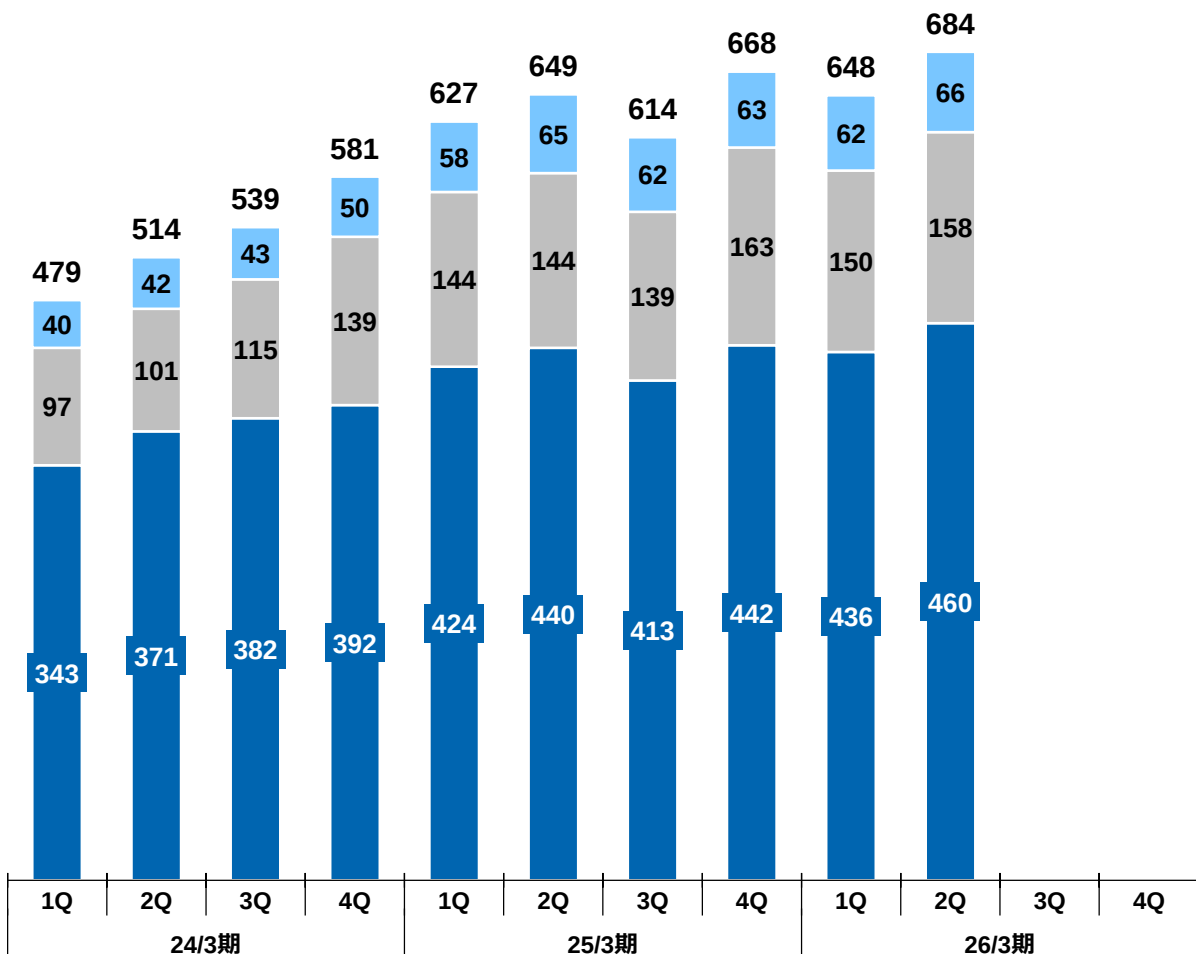
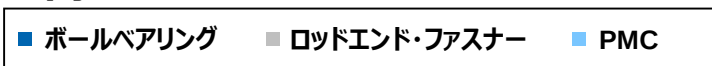


## 営業利益

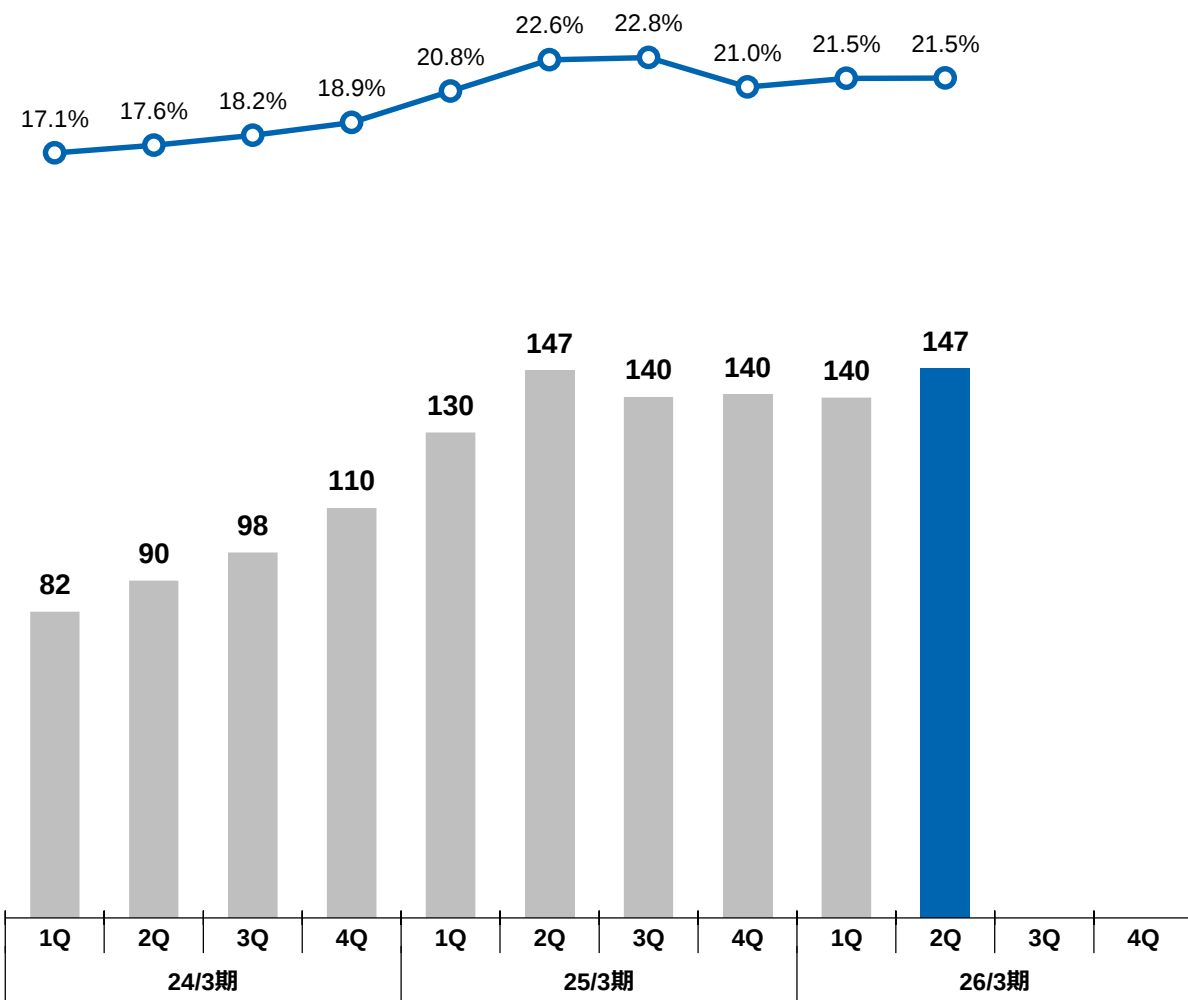


# プレジジョンテクノロジーズ セグメント (PT)

売上高 (億円)



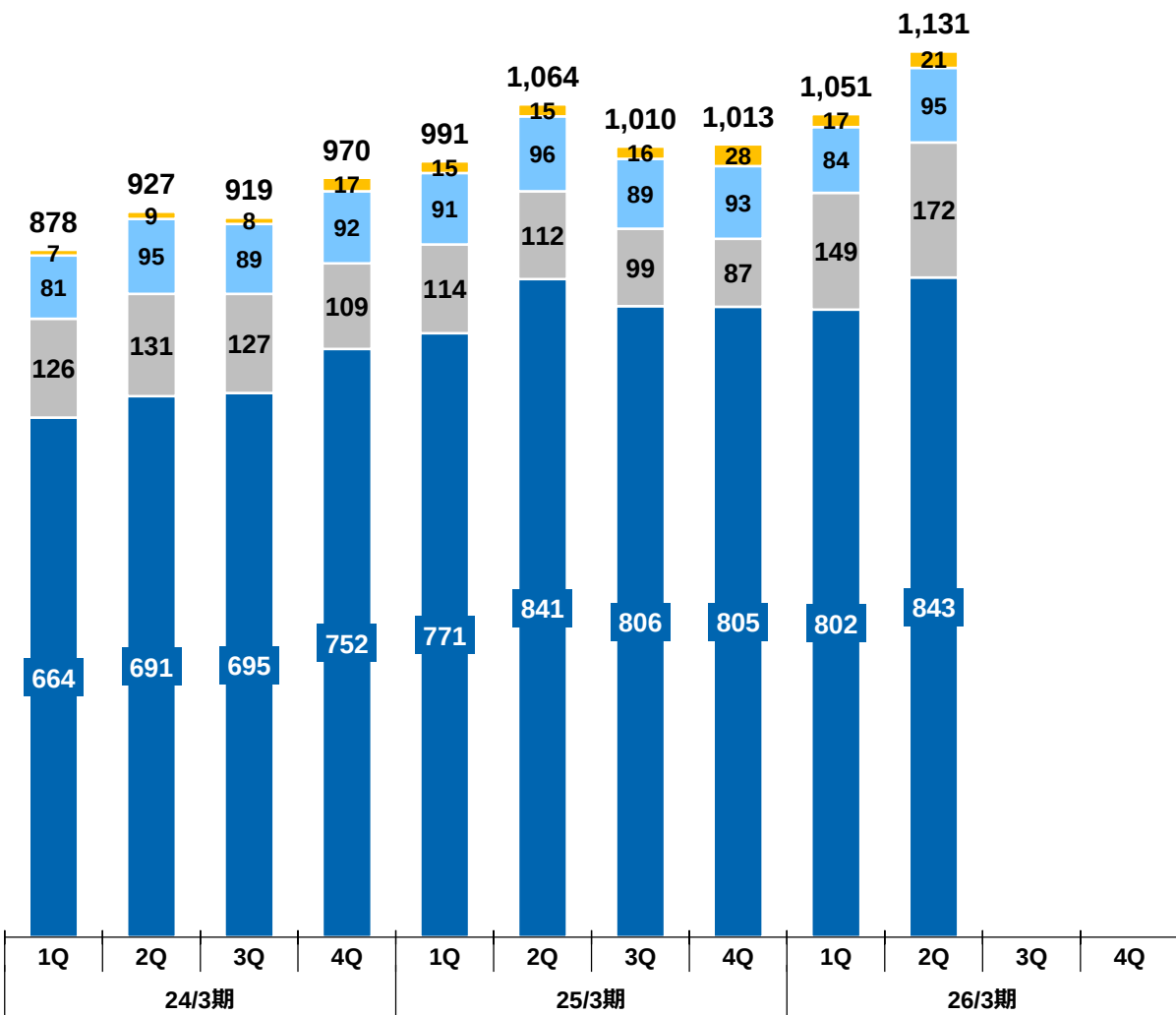
営業利益 (億円)



# モーター・ライティング&センシング セグメント (MLS)

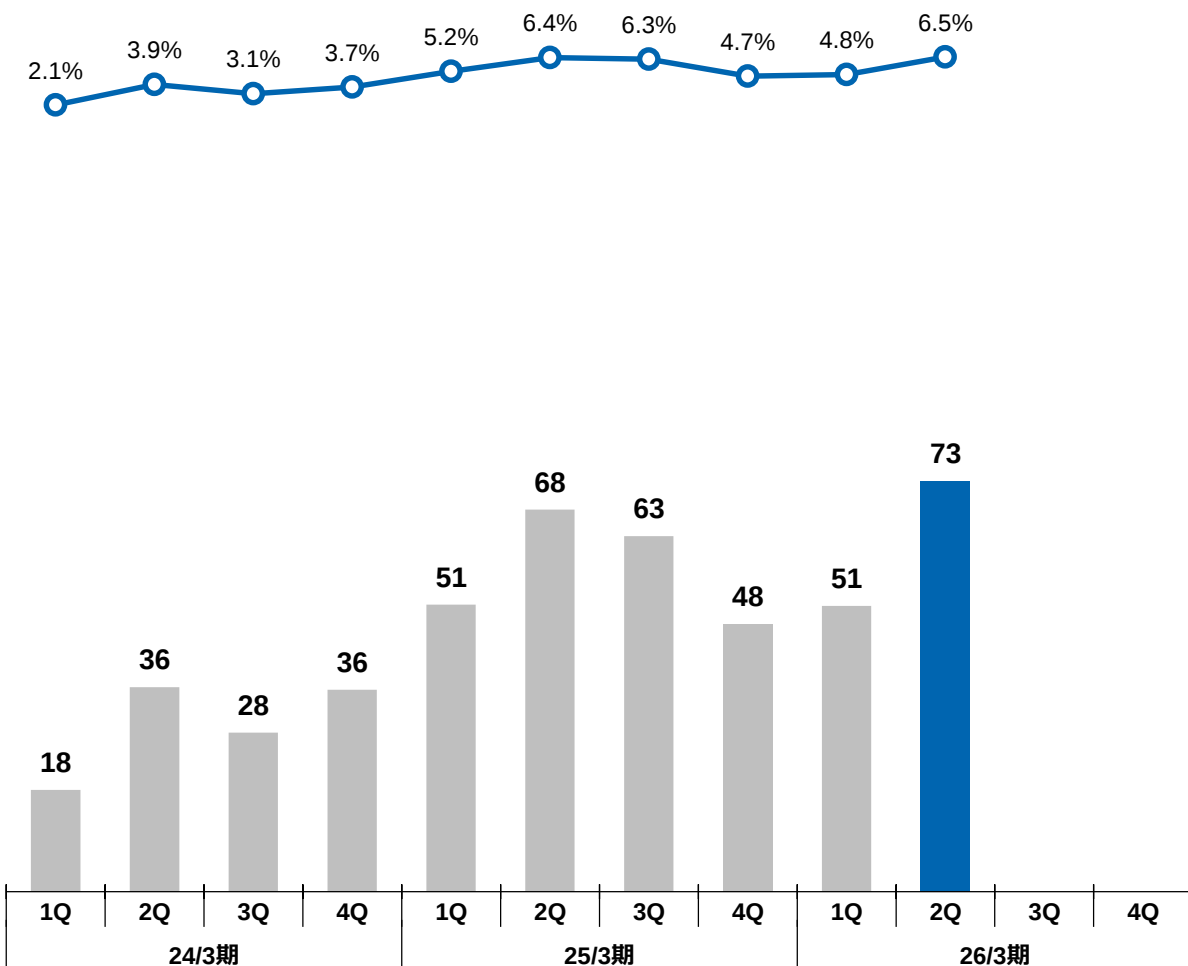
売上高 (億円)

■ モーター ■ エレクトロデバイス ■ センシングデバイス ■ その他



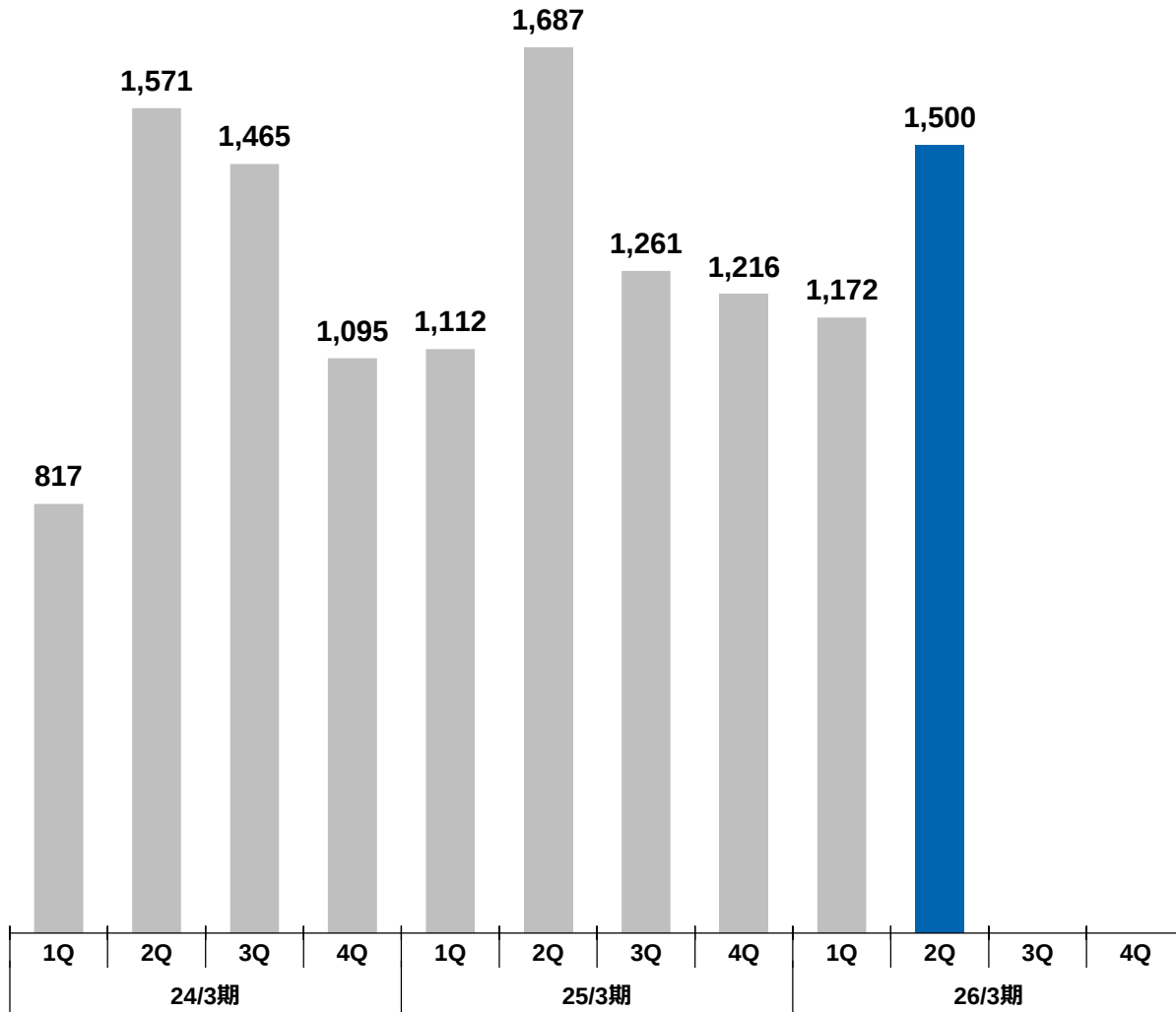
営業利益 (億円)

■ 営業利益 ● 営業利益率

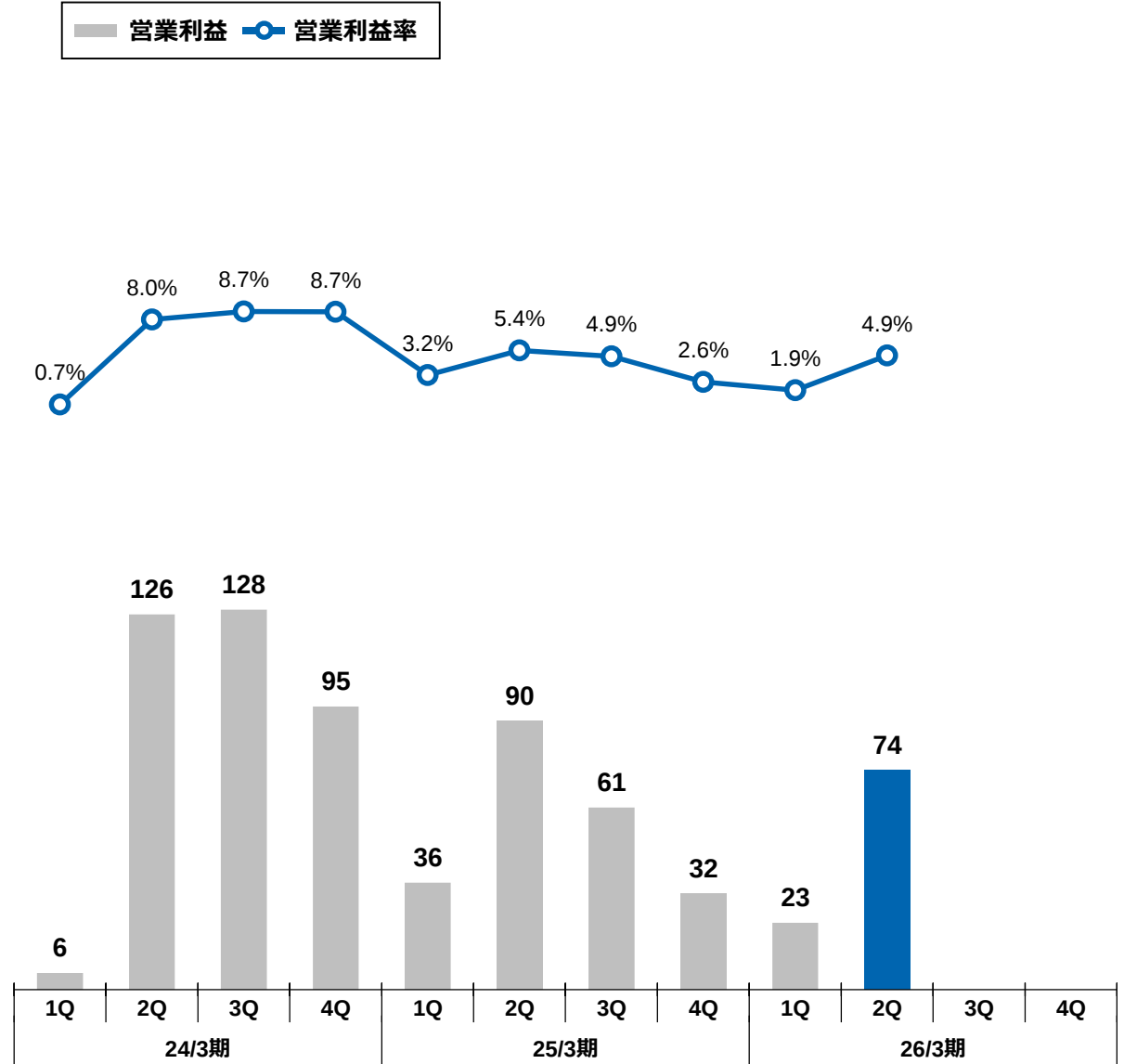


# セミコンダクタ&エレクトロニクス セグメント (SE)

売上高 (億円)

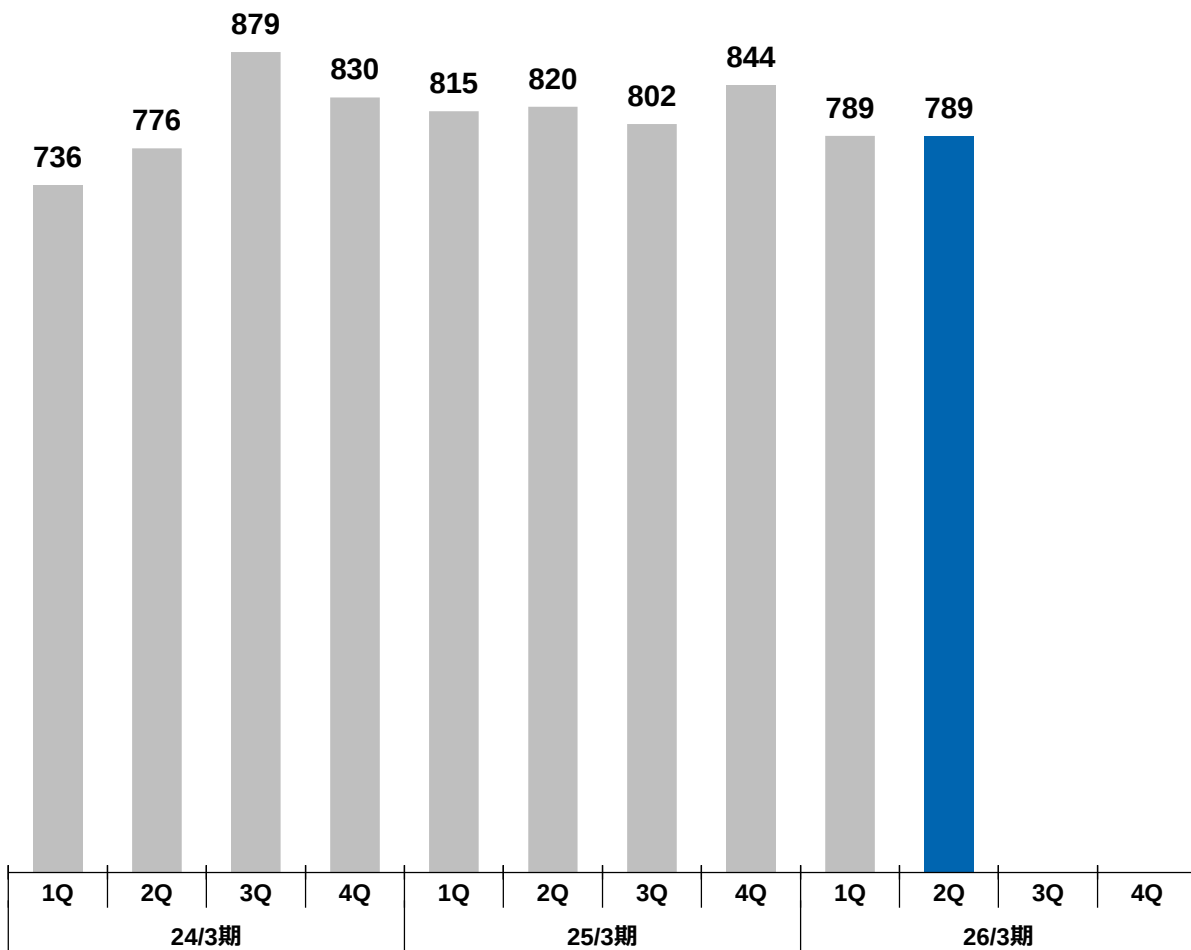


営業利益 (億円)

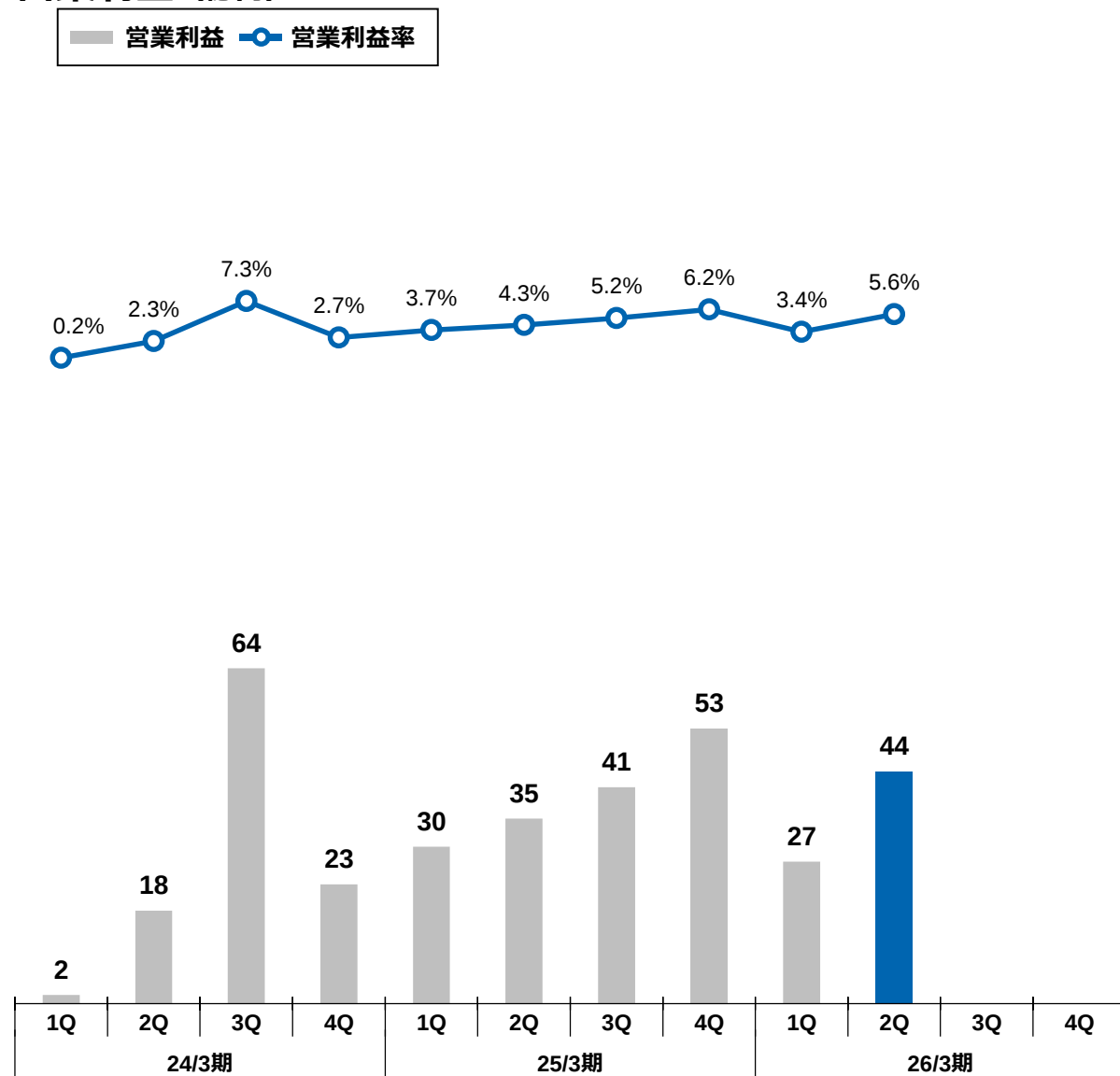


# アクセスソリューションズ セグメント (AS)

売上高 (億円)

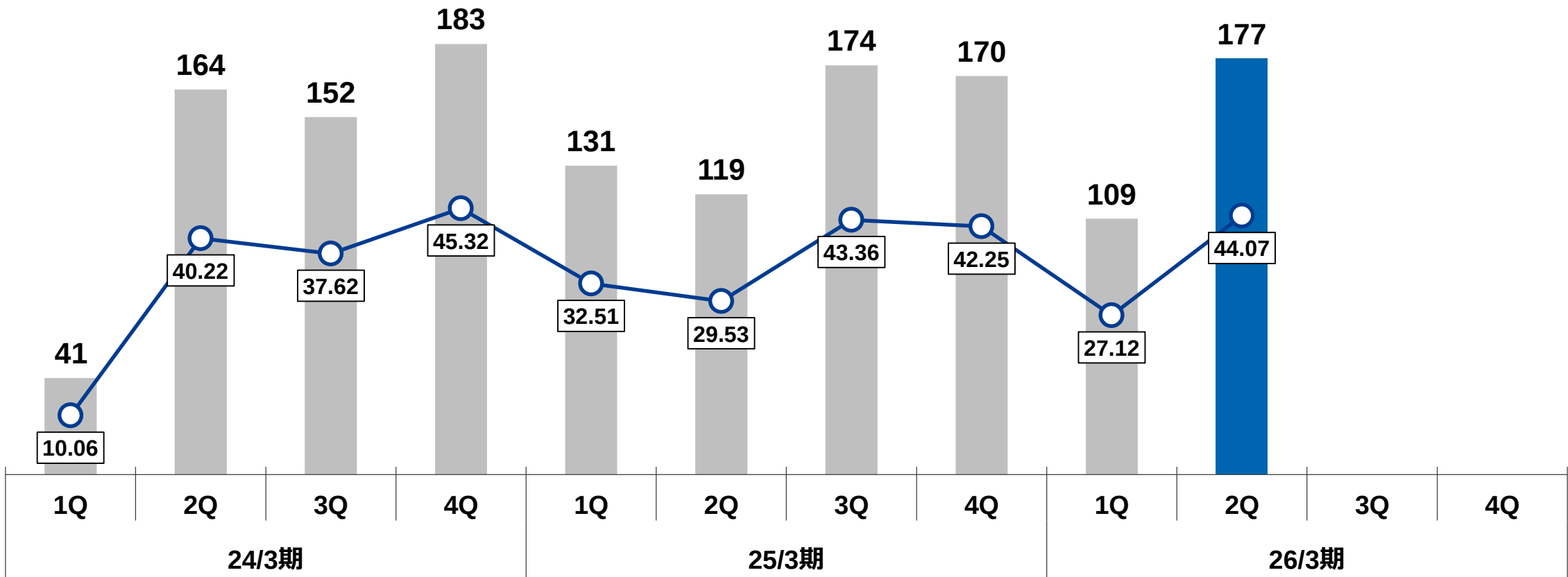


営業利益 (億円)



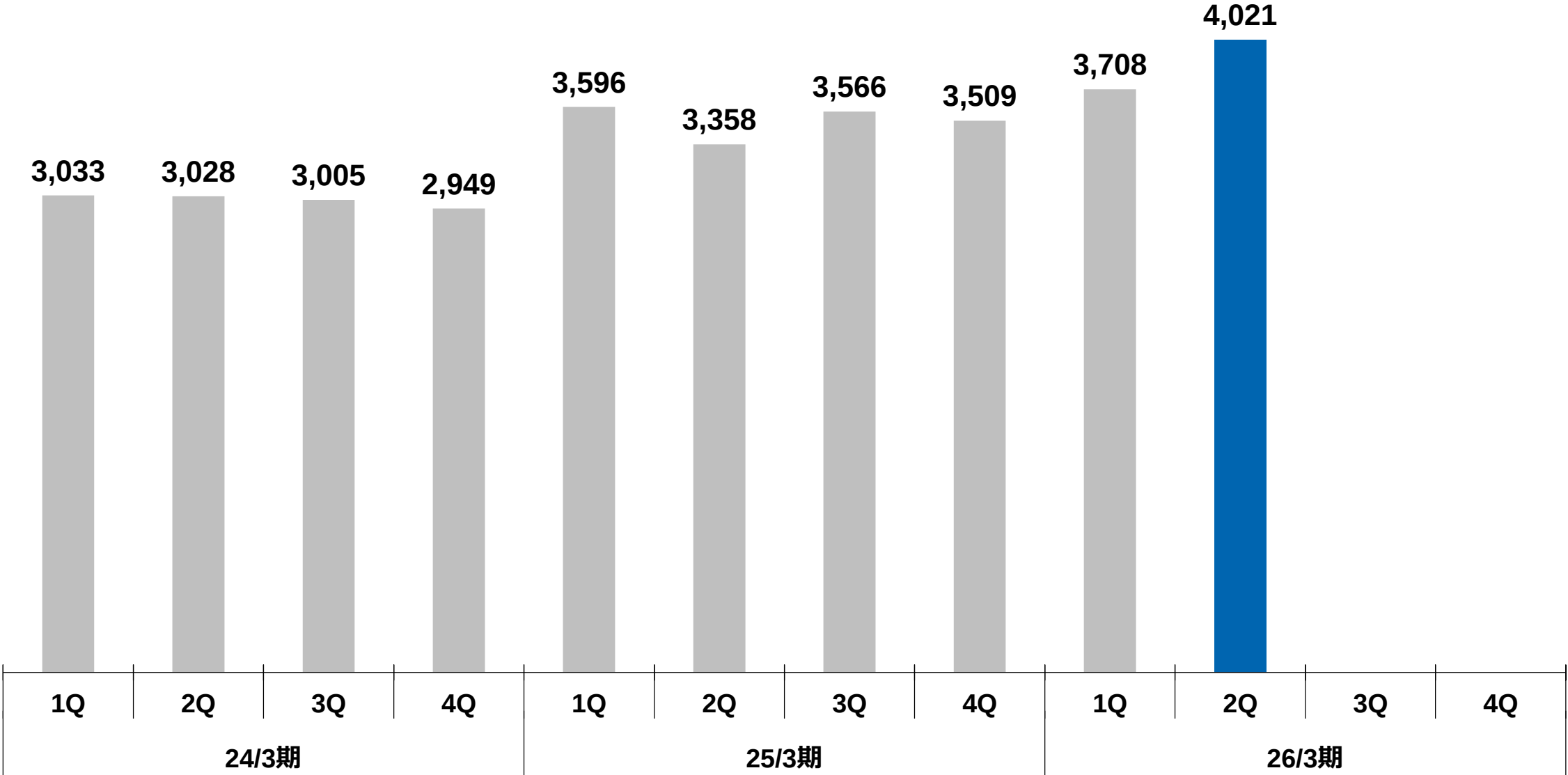
# 親会社の所有者に帰属する四半期利益 / EPS

(億円)      ■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益      ● 基本的1株当たり四半期利益 (円)



# 棚卸資産

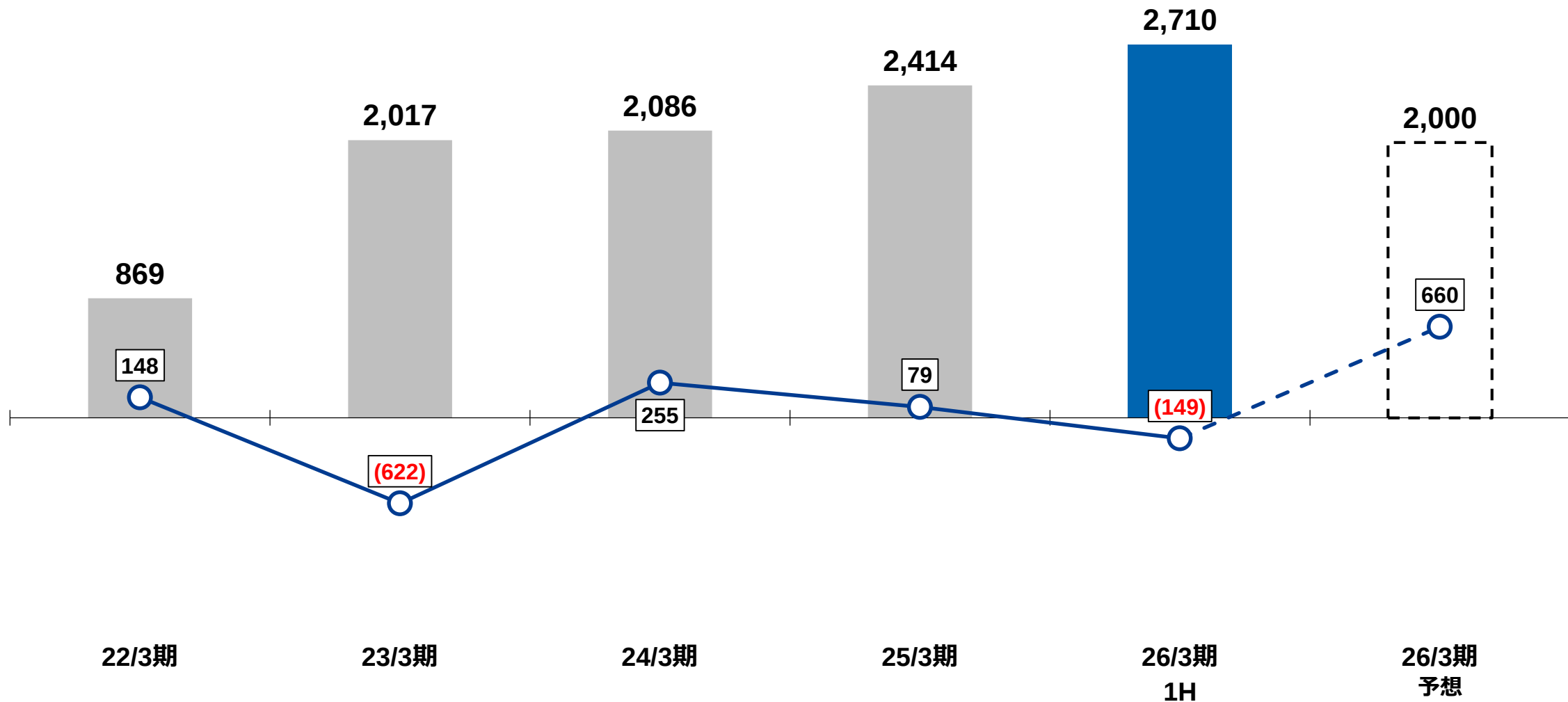
(億円)



# ネット有利子負債、フリーキャッシュフロー

(億円)

■ ネット有利子負債\*    ○ フリーキャッシュフロー



\*ネット有利子負債：連結財政状態計算書上の「社債および借入金」 - (「現金および現金同等物」+ 3か月超の定期預金)

## 通期業績予想を修正し、 今期売上高1兆5,500億円、営業利益予想は1,000億円へ

| (億円)                 | 2025年3月期<br>通期 | 2026年3月期 |        |        |        |
|----------------------|----------------|----------|--------|--------|--------|
|                      |                | 上半期      | 下半期    | 通期     | 前期比    |
| 売上高                  | 15,227         | 7,783    | 7,717  | 15,500 | +1.8%  |
| 営業利益                 | ※ 945          | 444      | 556    | 1,000  | +5.8%  |
| 税引前利益                | 826            | 404      | 556    | 960    | +16.2% |
| 親会社の所有者に帰属する<br>当期利益 | 595            | 286      | 424    | 710    | +19.4% |
| 基本的1株当たり<br>当期利益 (円) | 147.58         | 71.18    | 105.62 | 176.80 | +19.8% |

| 為替レート | 2025年3月期<br>通期 | 2026年3月期<br>下半期想定 |
|-------|----------------|-------------------|
| US\$  | 152.61円        | 140.00円           |
| ユーロ   | 163.89円        | 160.00円           |
| タイバーツ | 4.36円          | 4.20円             |
| 人民元   | 21.12円         | 19.40円            |

※50億円程度の一時費用が含まれています

# セグメント別業績予想

| (億円)              | 2025年3月期<br>通期 ※ | 2026年3月期 |       |        |        |
|-------------------|------------------|----------|-------|--------|--------|
|                   |                  | 上半期      | 下半期   | 通期     | 前期比    |
| 売上高               | 15,227           | 7,783    | 7,717 | 15,500 | +1.8%  |
| プレジジョンテクノロジーズ     | 2,557            | 1,332    | 1,258 | 2,590  | +1.3%  |
| モーター・ライティング&センシング | 4,077            | 2,183    | 2,157 | 4,340  | +6.4%  |
| セミコンダクタ&エレクトロニクス  | 5,276            | 2,673    | 2,638 | 5,310  | +0.6%  |
| アクセスソリューションズ      | 3,281            | 1,578    | 1,632 | 3,210  | -2.2%  |
| その他               | 35               | 18       | 32    | 50     | +41.6% |
| 営業利益              | 945              | 444      | 556   | 1,000  | +5.8%  |
| プレジジョンテクノロジーズ     | 557              | 287      | 293   | 580    | +4.1%  |
| モーター・ライティング&センシング | 230              | 124      | 166   | 290    | +26.2% |
| セミコンダクタ&エレクトロニクス  | 220              | 96       | 94    | 190    | -13.6% |
| アクセスソリューションズ      | 159              | 71       | 119   | 190    | +19.3% |
| その他               | △12              | △9       | △11   | △20    | -      |
| 調整額               | △209             | △126     | △104  | △230   | -      |

※2025年3月期通期実績については、セグメント変更による組み換えは考慮していません

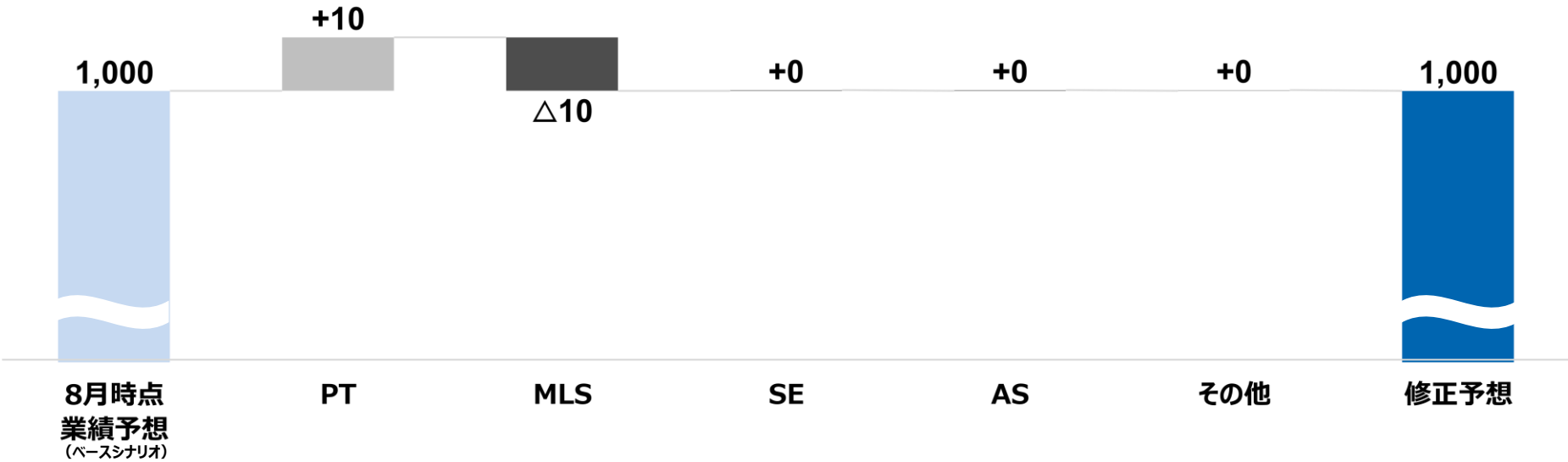
# 通期業績予想 8月時点業績予想からの差異

(億円)

## 売上高

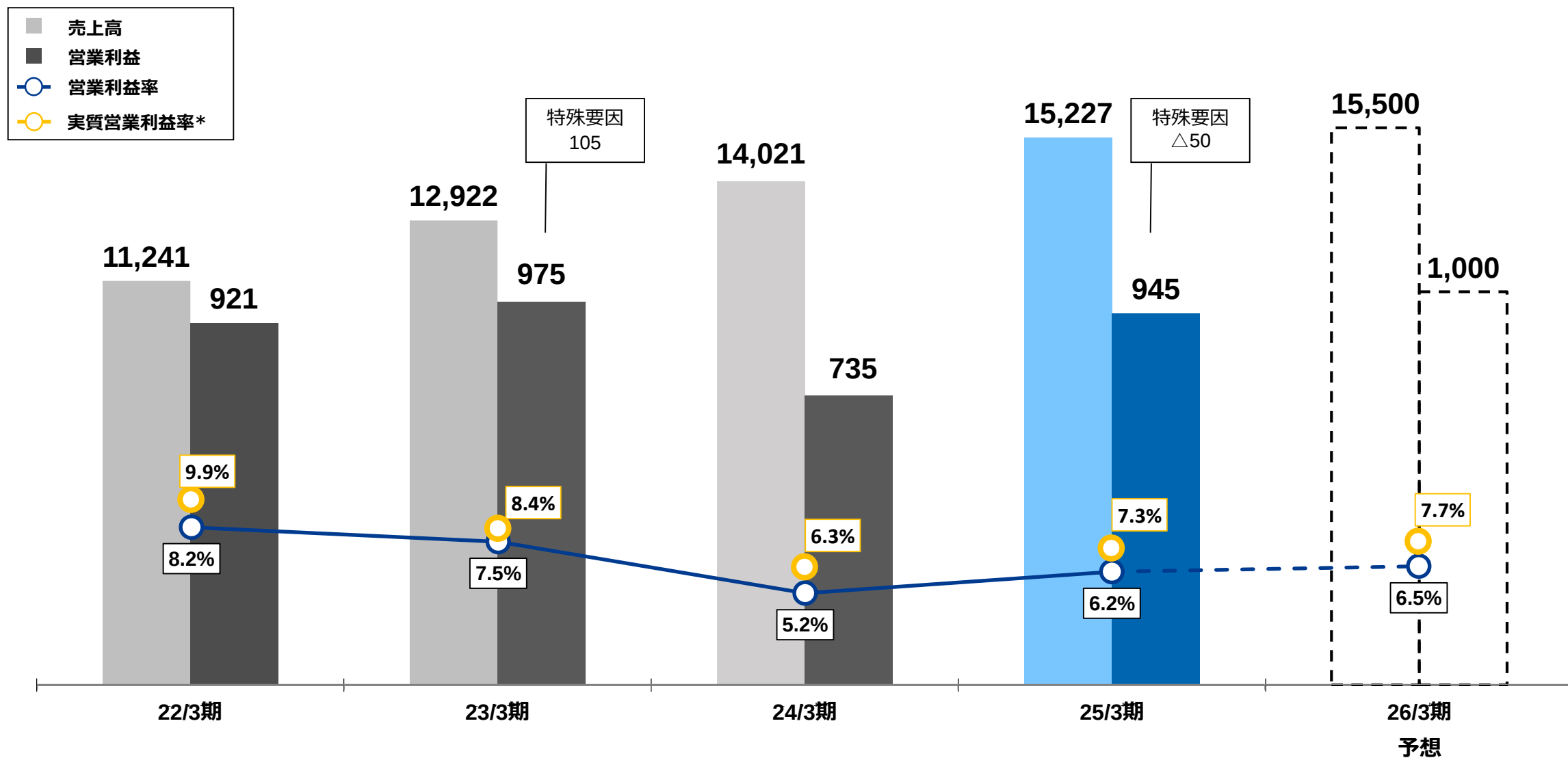


## 営業利益



# 売上高、営業利益、営業利益率、実質営業利益率

(億円)



※ 実質営業利益率：支給部品等の売上高を除いた場合の営業利益率

# 事業概況と経営戦略

Business Update & Management Strategy

2025年11月6日

代表取締役 会長 CEO

貝沼 由久



- 上半期の売上高は過去最高
- タイバーツ高でも予想を上回る営業利益を達成（2Q 実質営業利益率7.9%）
- 米相互関税の影響は引き続き軽微と判断  
業績予想を修正し、今期売上高1兆5,500億円、営業利益予想は1,000億円へ
- 外部環境は不透明なものの、自動化推進・価格是正等を進め収益性は向上
- PTは上半期売上高・営業利益ともに過去最高。MLSのモーターも堅調  
データセンター関連は下半期も好調継続を見込む
- SEの半導体は上半期堅調。下半期は調整入るが通期増益を見込む
- ASは下半期にさらなる生産性改善・新製品立ち上げ等により収益向上へ
- 光デバイスのレアアース調達問題は、ディスプロシウムフリー、ベトナムからの調達など代替案によりフル生産にほぼ回復  
新たな禁輸措置の当社ビジネスへの影響は軽微の模様
- 機構部品は需要好調。上半期に受けた為替影響は下半期解消へ

通期業績予想を売上高1兆5,500億円、営業利益1,000億円とする

業績予想のポイント

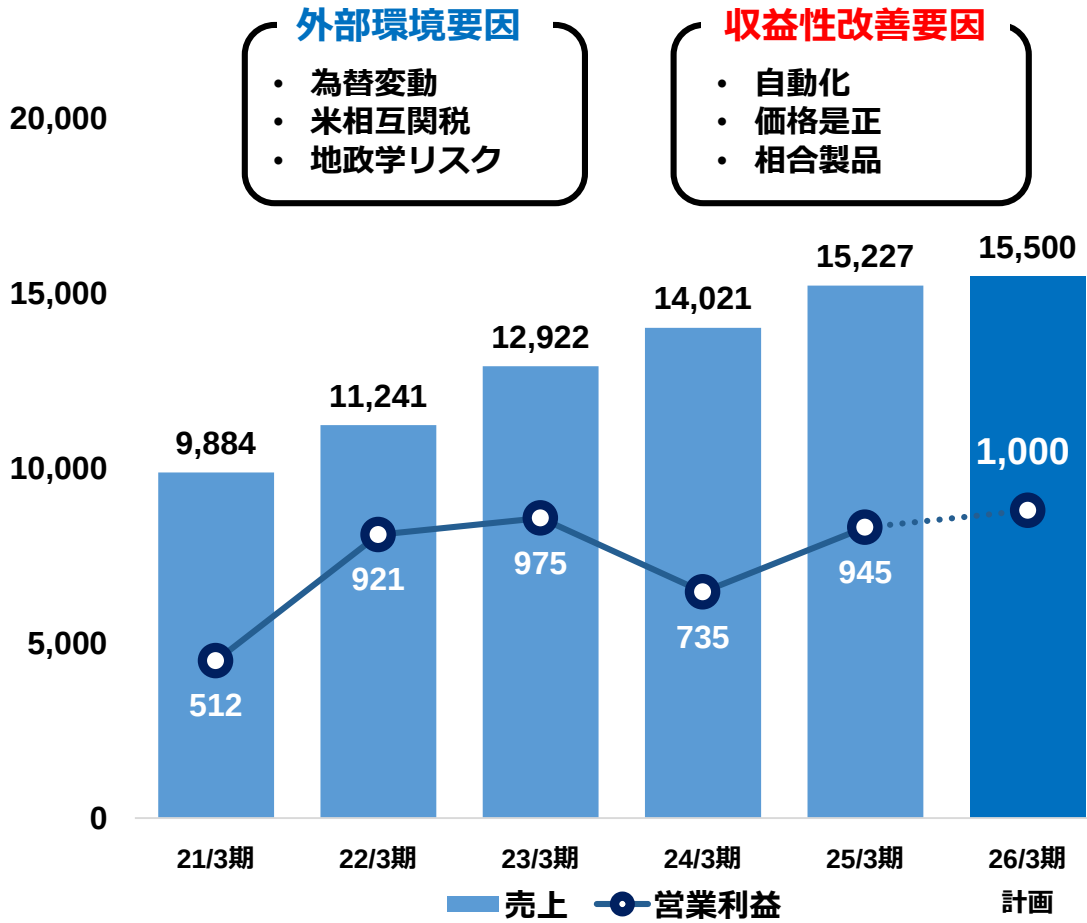
- 米相互関税の財務影響は限定的であることを踏まえ、通期業績予想を修正  
(追加関税の影響額見込 約USD 37.6millionについて、80%超のお客様と価格転嫁について合意済。  
100%の承諾を目指し継続的に交渉を進める)

| (億円)                                                | 2025年3月 |       |        | 2026年3月期 |        |        |        |        |        |
|-----------------------------------------------------|---------|-------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                                                     | 1H実績    | 2H実績  | 通期実績   | 1H実績     | 前期比    | 2H計画   | 前期比    | 通期計画   | 前期比    |
| 売上高                                                 | 7,782   | 7,445 | 15,227 | 7,783    | +0.0%  | 7,717  | +3.7%  | 15,500 | +1.8%  |
| 営業利益                                                | 468     | 477   | 945    | 444      | -5.1%  | 556    | +16.6% | 1,000  | +5.8%  |
| <small>親会社の所有者に帰属する</small><br>当期利益                 | 251     | 344   | 595    | 286      | +14.0% | 424    | +23.4% | 710    | +19.4% |
| <small>基本的 1株当たり</small><br>当期利益 <small>(円)</small> | 62.05   | 85.61 | 147.58 | 71.18    | +14.7% | 105.62 | +23.4% | 176.80 | +19.8% |

## 厳しい外部環境が続く中でも、収益性は着実に改善 営業利益1,000億円達成へ

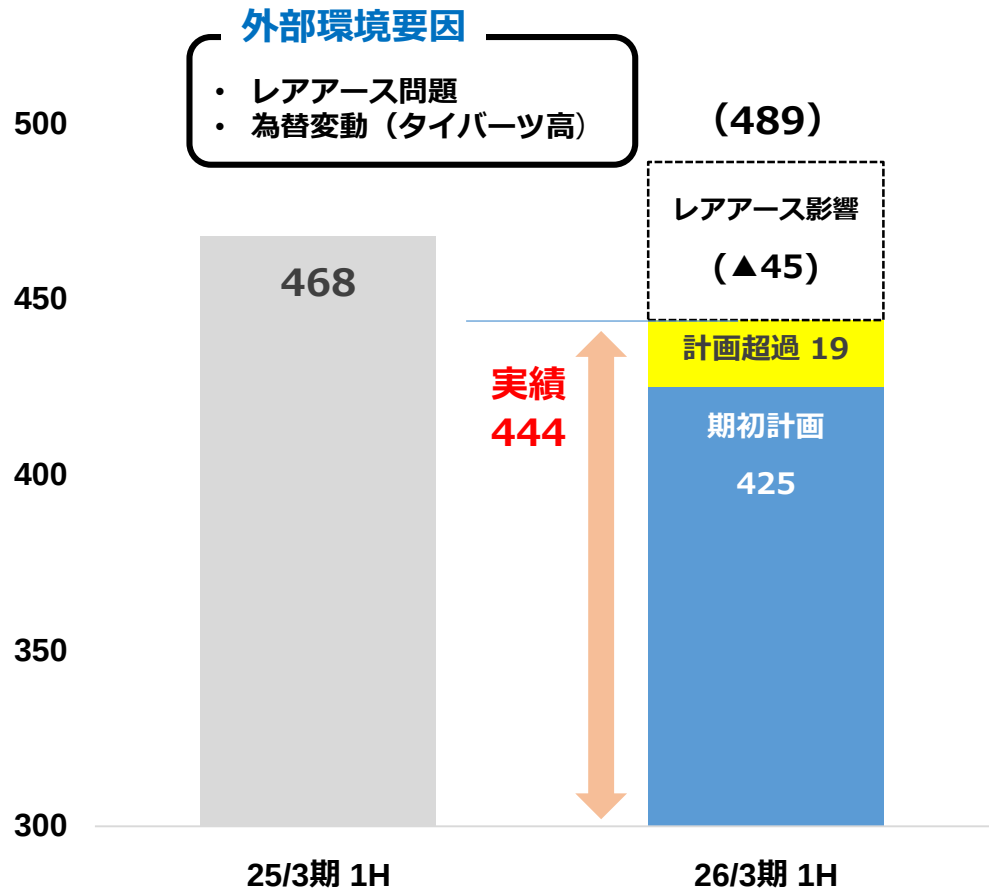
業績の推移

(単位：億円)



上半期営業利益分析

(単位：億円)



上半期の売上高、営業利益ともに過去最高を更新  
年700億円の営業利益を目指す

ベアリングはデータセンター向け好調。PMCはLiDAR向け車載部品に注力

## 主なポイント

1

### ベアリング

- ・ベアリング事業で売上・営業利益とも上半期過去最高更新
- ・データセンター向けの好調継続に加え、車載向けも堅調を維持。月次外販数量も過去最高を更新
- ・ドローン・ヒューマノイドロボットが収益向上を約束

2

### ロッドエンド・ファスナー

- ・足元は航空機メーカーの労働力不足による生産調整あるも、中長期的な成長拡大継続の予想は不変

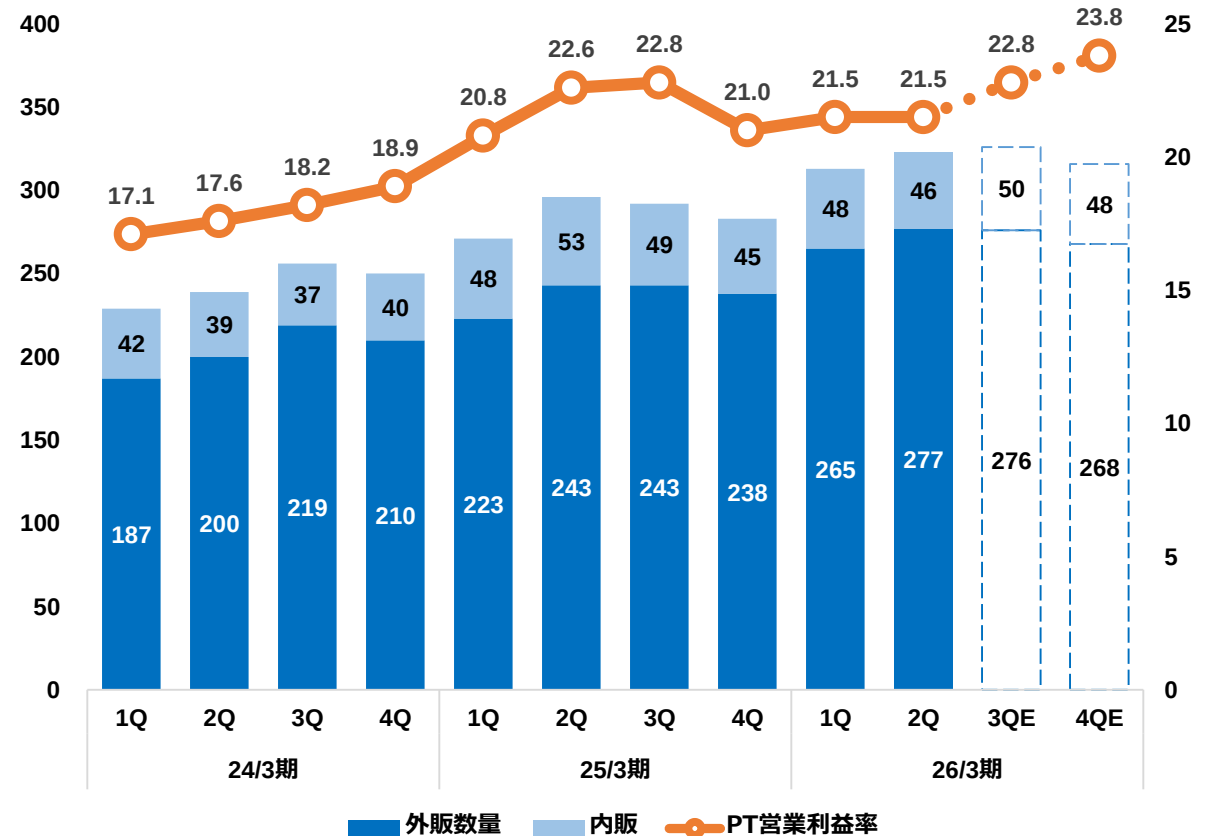
3

### PMC

- ・HDD市場に加え、LiDAR向け車載部品が成長を牽引。カンボジア第二工場の立ち上げにより、中長期でのさらなる拡大を目指す
- ・ミネベアリニアモーション\*始動

\*株式会社ツバキ・ナカシマから取得したボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業

## ボールベアリング 外販・内販数量（月次平均・百万個） PT営業利益率の推移（%）



## LiDAR向け部品をドライバーとして、 PT事業の成長とカーボンニュートラルを担う基幹拠点に

### 設立の狙い / 概況

- 進捗** 10月にタイから切削加工機械の移管を開始。11月より一部出荷開始予定  
人材確保も完了し、トレーニングを継続実施
- 敷地面積** 約50ha(約500,000 m<sup>2</sup>) プノンペン経済特区 (PPSEZ)の第一工場の2.5倍相当
- 狙い** **PMC製品 (LiDAR向け)** など市場拡大が期待できる製品の生産を拡大  
垂直統合生産システム、自動化設備など社内ベストプラクティスを結集  
PT事業の成長の一翼を担い、**営業利益700億円超**を創出する柱に育てる

### 太陽光発電事業

#### 自社太陽光発電事業を開始

カンボジア国内の既存工場、および将来の工場拡張時の使用電力が  
100%再生可能エネルギーに。**完全なカーボンニュートラルを達成を目指す**

**発電容量** 合計50MWac (2026年1月: 20MWac、2026年7月(予定): 30MWac)

**総投資額** 約70億円  
⇒補助金収入約10億円、売電収入を活用し、約10年で回収を見込む



工場外観



LiDAR用  
カートリッジベアリング



SchneiTec社にて設置済みの太陽光発電システム

## 本年10月ミネベアリニアモーションが正式に始動 ボールねじ、ボールウェイ事業を核にPMCのさらなる拡大を目指す

### 統合によるシナジー

#### 1 精密加工品のポートフォリオ拡大

- ・ボールねじ・ボールウェイの製造技術・ノウハウを取得し、PT事業のポートフォリオ拡大

#### 2 「相合製品」の開発

- ・超精密加工品、モーター・半導体・センサーなどのデバイスや、小型・高剛性設計、精密制御、ソフトウェアなどの要素技術を組み合わせ、「相合製品」を開発

#### 3 収益力の向上

- ・グローバル生産・販売拠点を活用し、事業拡大。早期に高収益化へ

### 「相合」により成長市場で精密分野での拡大を目指す

ミネベアミツミの高精度デバイス・要素技術との「相合」「垂直統合生産」により、ヒューマノイドロボットをはじめ成長市場でのシェア拡大を目指す

ボールねじ



ボールウェイ

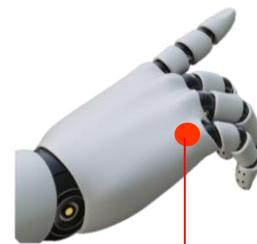


相合製品  
(精密昇降旋回モジュール)



#### ターゲット市場

ヒューマノイド  
ロボット



手の甲の  
リニアアクチュエータを  
はじめ、各種部位で使用

半導体製造装置



半導体ウエハ装置内  
駆動部など

航空機



フラップなど様々な  
部位で活用

## 「相合」x「協創」により、スマート・力強いロボットハンドを実現

### CES2026出展へ向け開発実施中

(2026年1月6日－9日 ラスベガス開催)

超精密部品を  
相合x協創し、  
握力200Nを実現！



#### ①小径ベアリング

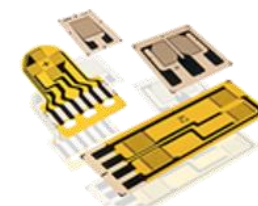
→超精密技術により大きな力でも  
静音でスムーズな動作が可能

x 85個/台



#### ②ひずみセンサー

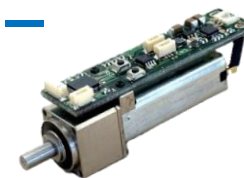
→握る力をセンシングし、やわらかい  
ワークでも潰さず把持可能



#### ③高トルク・マイクロアクチュエーター

→超小型・波動歯車装置 + DCモーター

x 11個/台



## データセンター向けファンモーター・HDD向けスピンドルモーターが好調 来期収益向上の要

### 主なポイント

#### 1 モーター

- データセンター向けファンモーターとHDD（ヘリウム）向けスピンドルモーターが好調

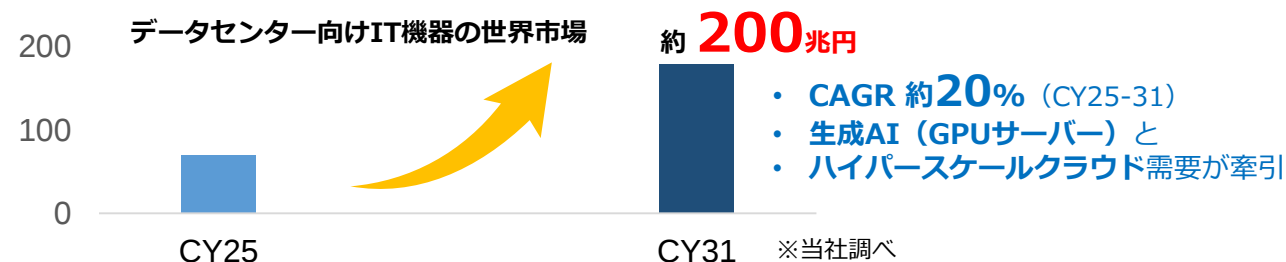
#### 2 ライティングデバイス

- 前期までの赤字から脱却し、黒字化を実現
- タブレット向けは生産性・収益性を改善しシェア確保
- 車載向けピラーtoピラーディスプレイは今後の量産立ち上げに向けて引き合い増加

#### 3 センシングデバイス

- 大阪・関西万博のパソナグループ パビリオン『PASONA NATUREVERSE』に展示し大好評を博したベッドセンサーの今後に期待

### データセンター市場動向



### 当社のビジネス機会(他セグメントを含む)

#### 大型化・静音化・効率化がキーワード

- ① **ファンモーター・ベアリング:**  
サーバー向け空冷の需要は継続的に成長
- ② **大型ファンモーター:**  
リアドア・Liquid to Air冷却装置向けの引き合いが増加
- ③ **スピンドルモーター:**  
HDD需要が顕著。今後も安定したビジネスを期待
- ④ **ピボット・ベアリング:**  
HDD需要が顕著。今後も安定したビジネスを期待
- ⑤ **ステッピングモーター:** 冷却液配管バルブ用途に需要が拡大
- ⑥ **漏水センサー:** 早期に漏水を検知し、被害を最小限に
- ⑦ **光通信コネクタ:** データスループットを向上



## 半導体事業は、高付加価値領域を中心に、安定した収益基盤を維持しながら 持続的な成長を目指す

### 主なポイント

## 1 半導体

- ・アナログ半導体：医療機器やスマートフォン電池保護IC（リチウム1セル）など高付加価値製品の需要が堅調に推移し、上半期を通じて売上が好調
- ・パワー半導体：欧米・インド向け鉄道用IGBTや中国家電向けICが好調。独自技術を核に、参入障壁が高い高耐圧・高耐久性・高信頼性が要求される市場に注力

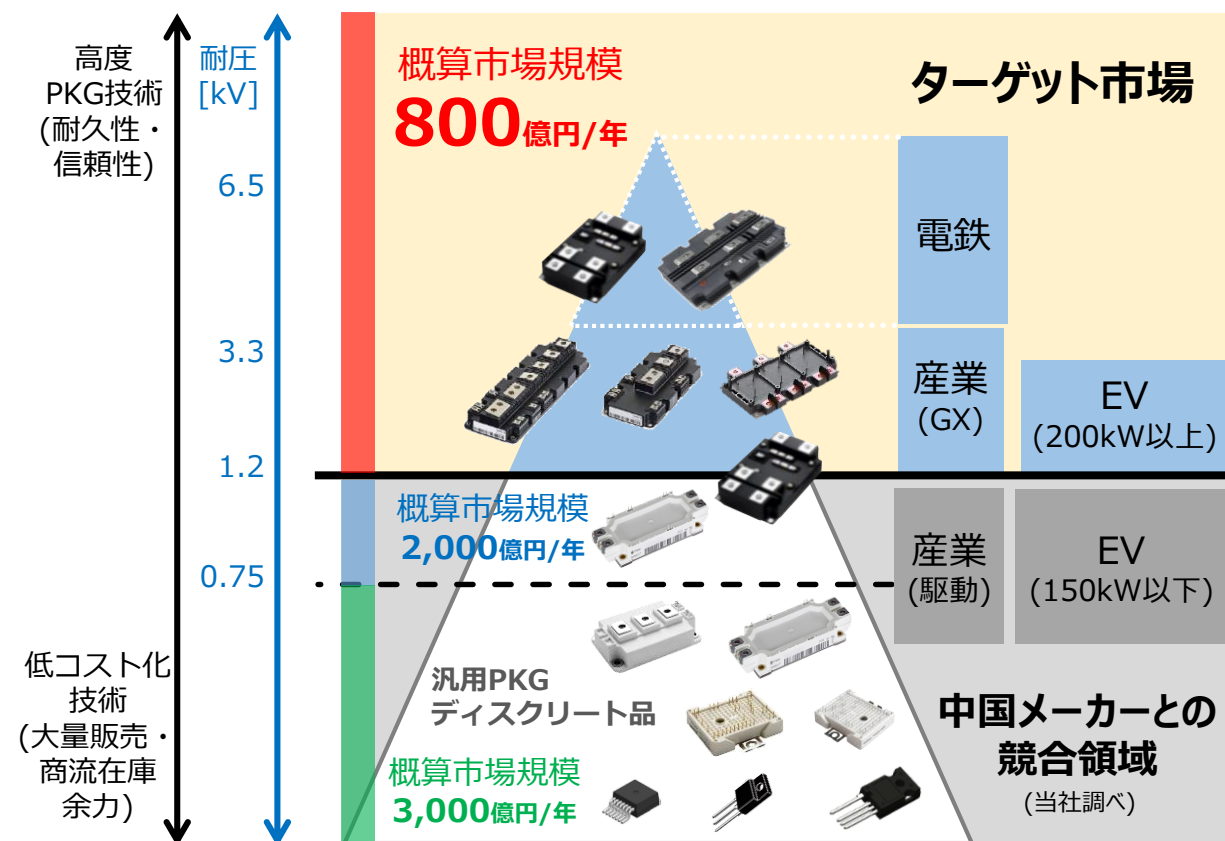
## 2 光デバイス

- ・中国の輸出規制でOIS向けレアアース部品に供給制約
- ・レアアースフリー品を開発し顧客承認活動を進行中。安定供給体制を構築し、下半期で上半期分を補い通期計画を維持
- ・上半期は約16億円の赤字なるも、通期は計画通りの黒字へ

## 3 機構部品

- ・新機種販売が好調、生産オペレーション改善効果も定着
- ・2Qは為替特損なく、生産性改善による採算性向上

### パワーデバイス ターゲット市場



## 厳しい事業環境下でも、高付加価値製品の量産を軸に成長と収益性の両立を目指す

### 主なポイント

## 1 32工場の拠点間データ連携で生産効率を向上

- ・各工場に生産性改善ライン（ゴールデンライン）を設定し、優良事例をグローバルに共有
- ・KPIデータを集約・可視化し、拠点横断で生産性改善を推進
- ・データ活用と優良事例の水平展開を通じ、量産ラインへの適用を拡大中

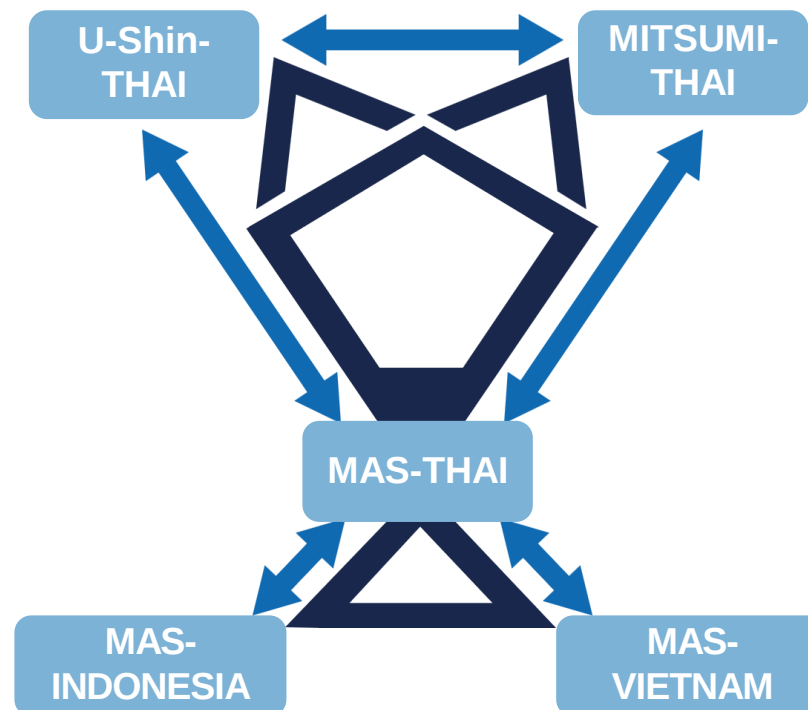
## 2 新製品の量産進展で成長軌道へ

- ・高付加価値製品の拡充と生産性向上で増収・収益性を強化

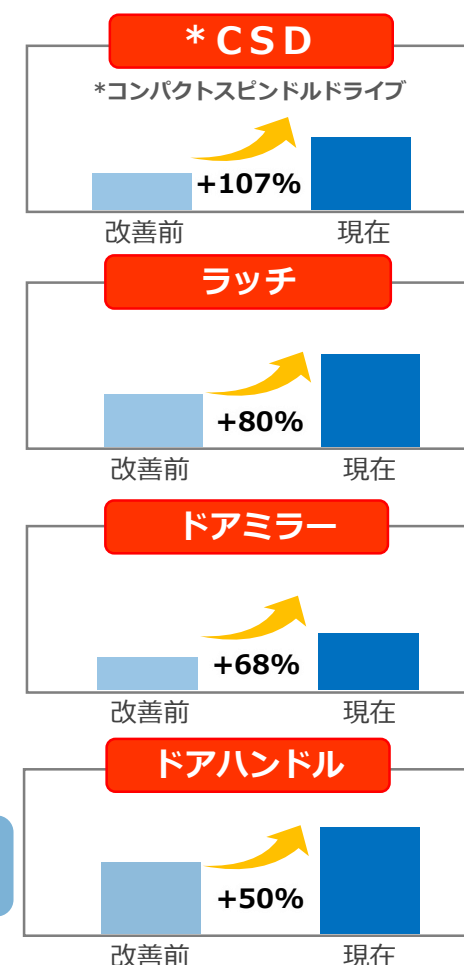
### 生産性改善活動の推進

#### FOX project (Find Opportunity eXchange)

グローバル拠点間のシナジー創出に向け、R&D活用拡大、物流最適化、人材交流、在庫削減、組立生産性の改善などを通じて、連携を一層強化する取り組み



#### 製品別一人出来高 (pcs/h)の推移

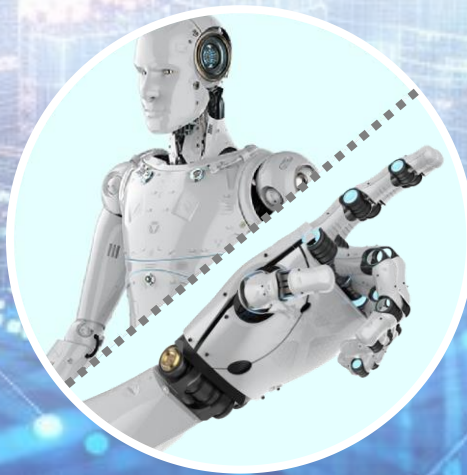


## 5つの成長ドライバーが将来を約束

- 「世界を動かす、なくてはならない会社」として、2029年3月期 売上高2.5兆円、営業利益2,500億円、さらに将来を約束する**5つの成長ドライバーのポテンシャル**を経営陣よりご説明します
- 東京クロステックガーデン内「**協創フロア**」見学会も実施し、**最新の相合製品事例**をご紹介します



AIサーバー  
製品



ヒューマノイド  
ロボット製品



完全自動運転  
(LiDAR)



ドローン用  
製品



相合製品

## 配当

**中間配当は、前年同期比で5円増配。年間配当は50円を予定**

26/3期 中間配当 **25** 円/株      26/3期 期末配当 **25** 円/株

(ご参考) 25/3期 年間配当45円 (中間20円 期末25円)

## 配当方針

### 持続的・安定的な配当：

中期的なキャッシュアロケーションポリシーに基づき、安定した配当を実施

### 連結配当性向30%：

原則として連結配当性向30%程度をめどとしておりますが、経営環境を総合的に勘案し、決定してまいります

### 長期的な信頼関係：

投資家の皆様との長期的な信頼関係を築くことを目指します



当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

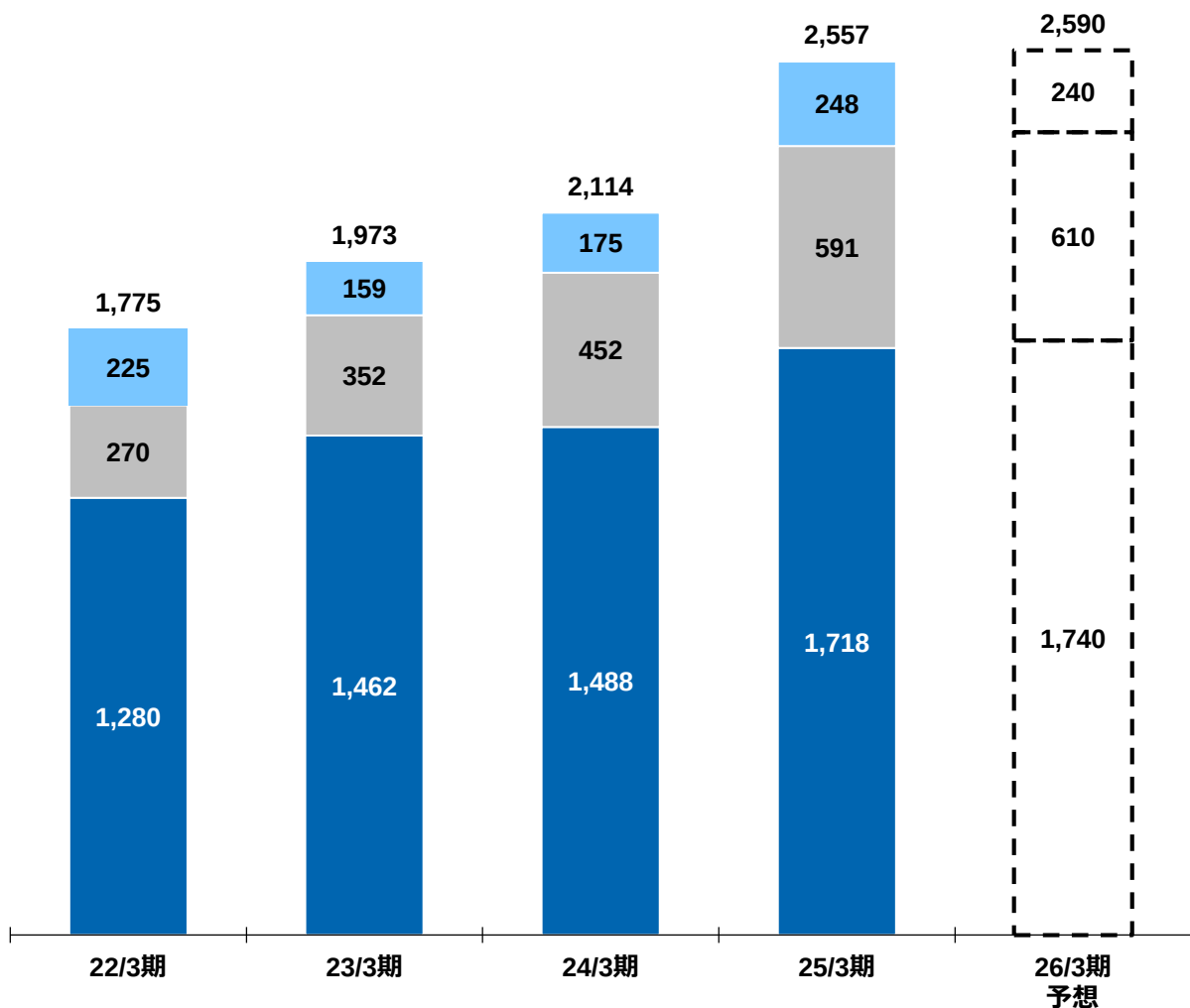
**2026年3月期 第1四半期から、業績概要をより分かりやすくお伝えするため、原則として数値を億円単位の表記に変更いたします。(従来は百万円単位等)**  
**これに伴い、百万円単位の数値を四捨五入して表示しているため、本資料内の合計額や差額などが一致しない場合がございます。**  
**詳細な数値につきましては、別途開示しております決算短信や財務補足資料等をご参照くださいますようお願いいたします。**

# 參考資料

# プレジジョンテクノロジーズ セグメント (PT)

売上高 (億円)

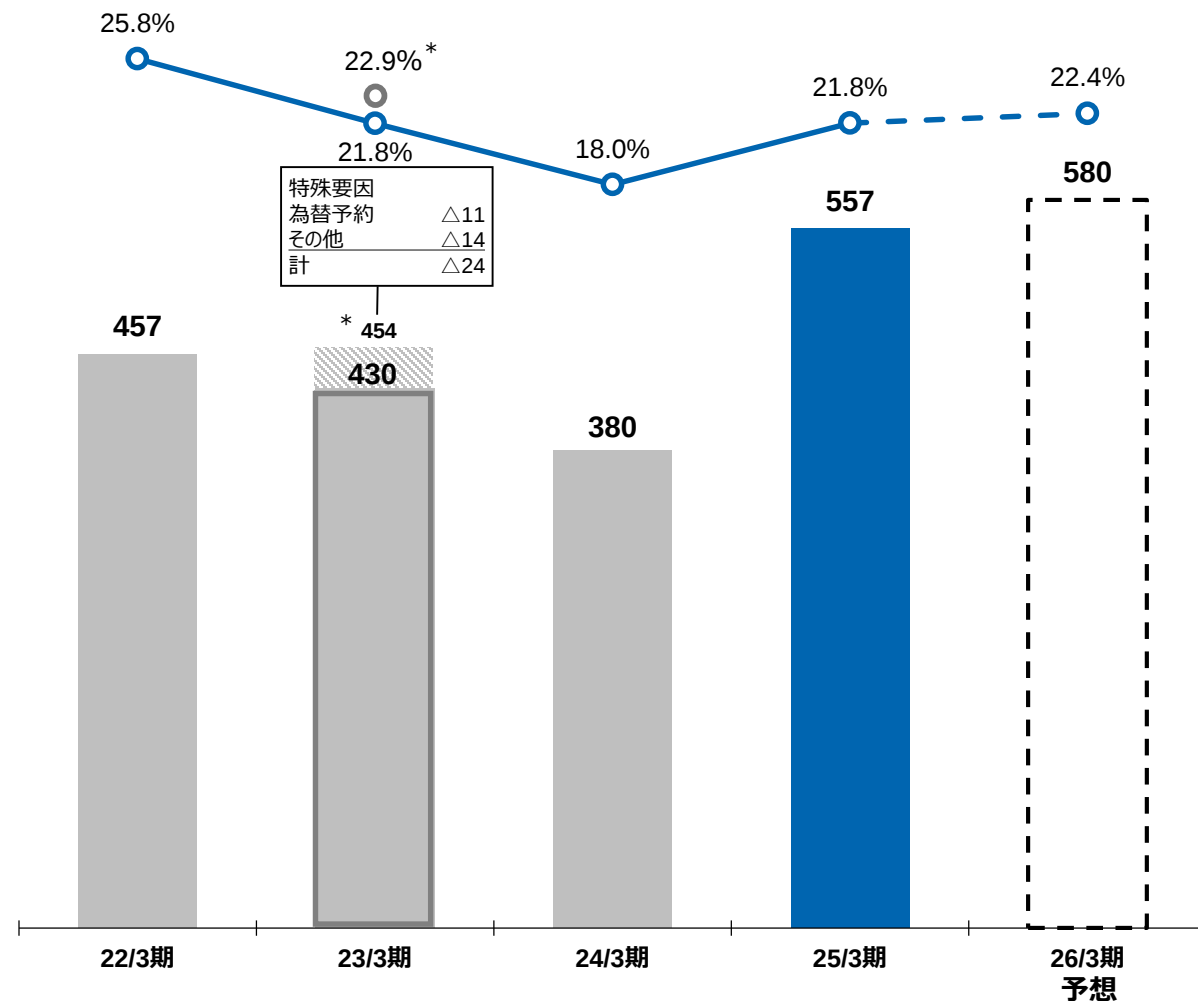
■ ボールベアリング ■ ロッドエンド・ファスナー ■ PMC



営業利益 (億円)

\*特殊要因除く

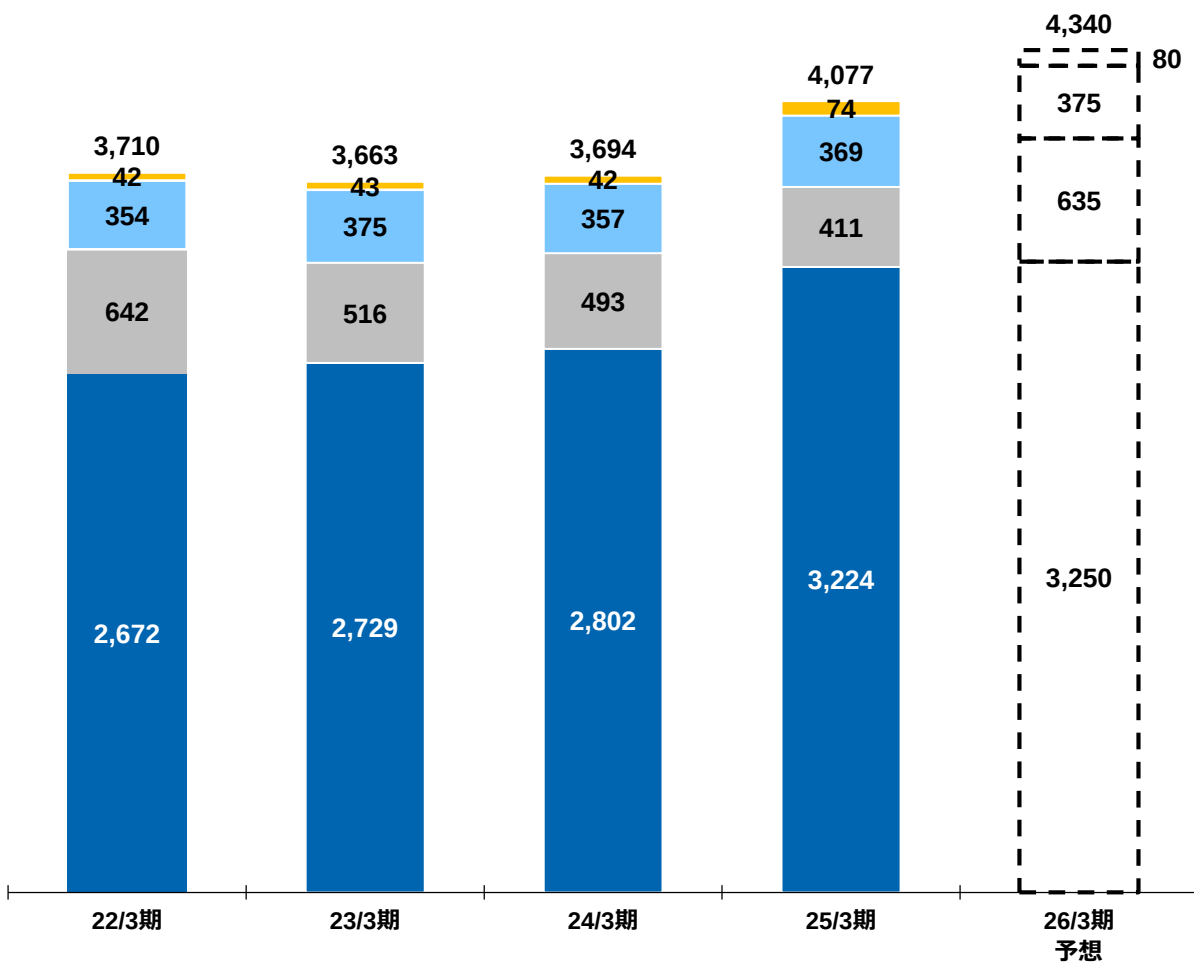
■ 営業利益 ○ 営業利益率



# モーター・ライティング&センシング セグメント (MLS)

売上高 (億円)

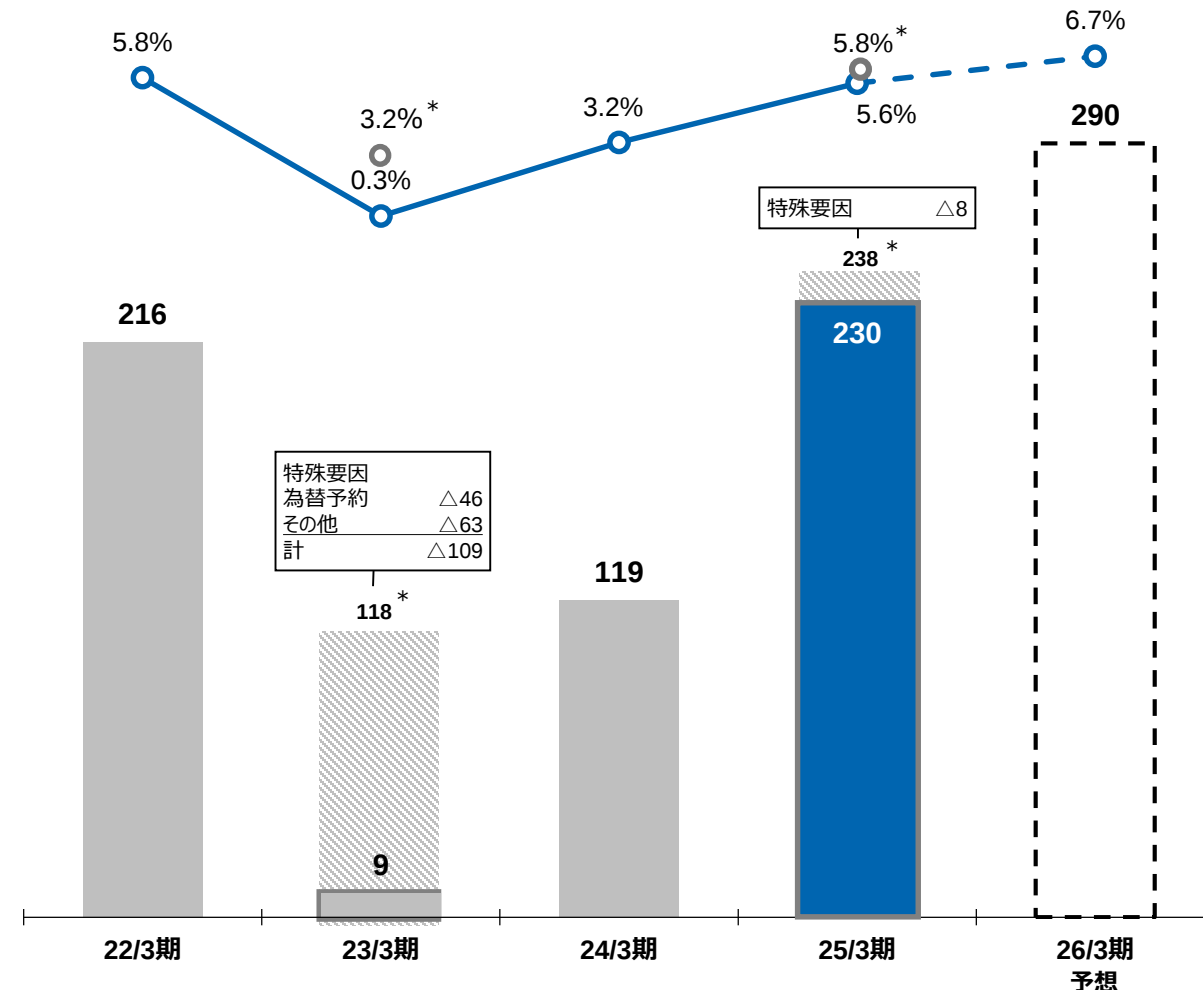
■ モーター ■ エレクトロデバイス ■ センシングデバイス ■ その他



営業利益 (億円)

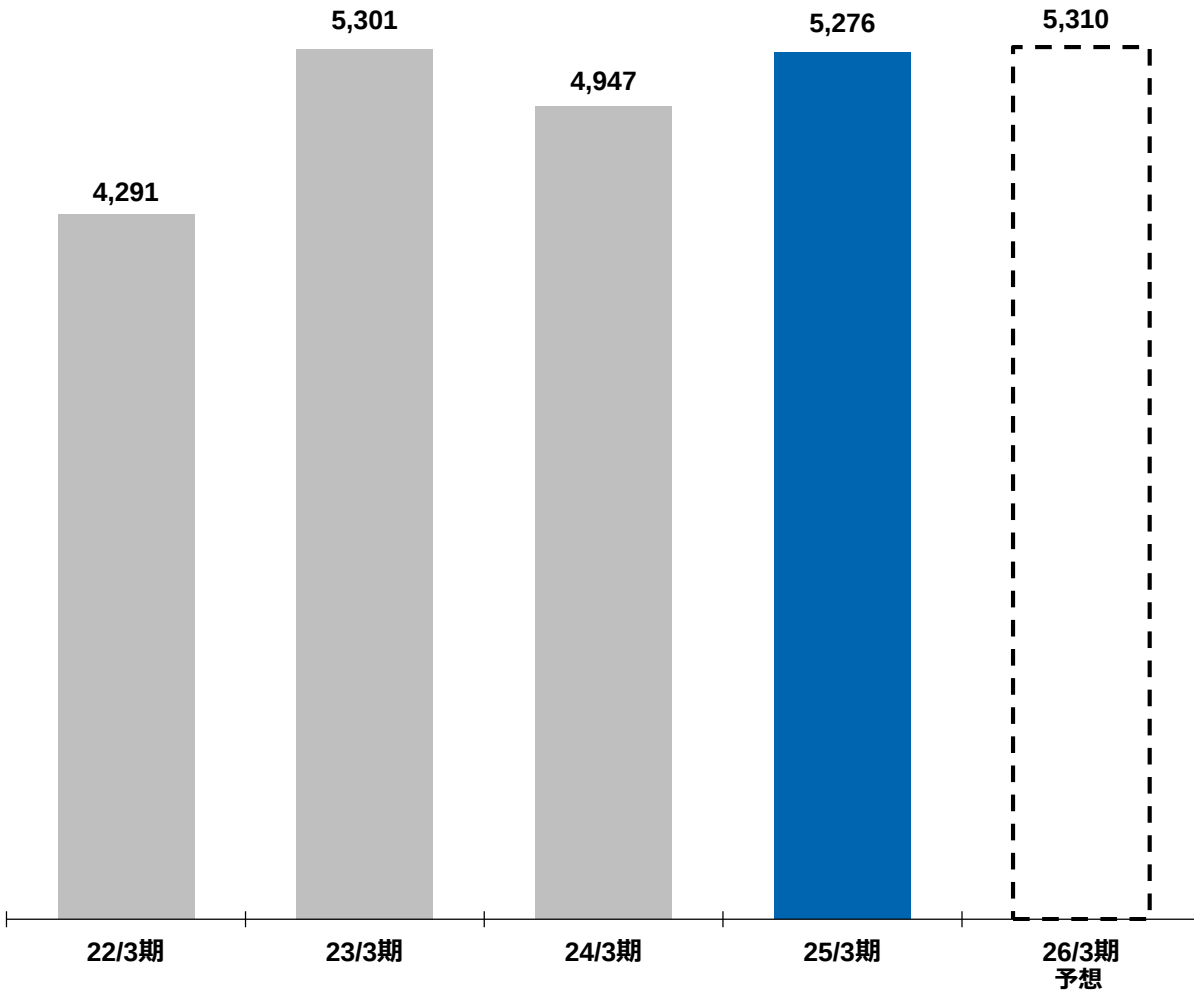
■ 営業利益 ● 営業利益率

\*特殊要因除く

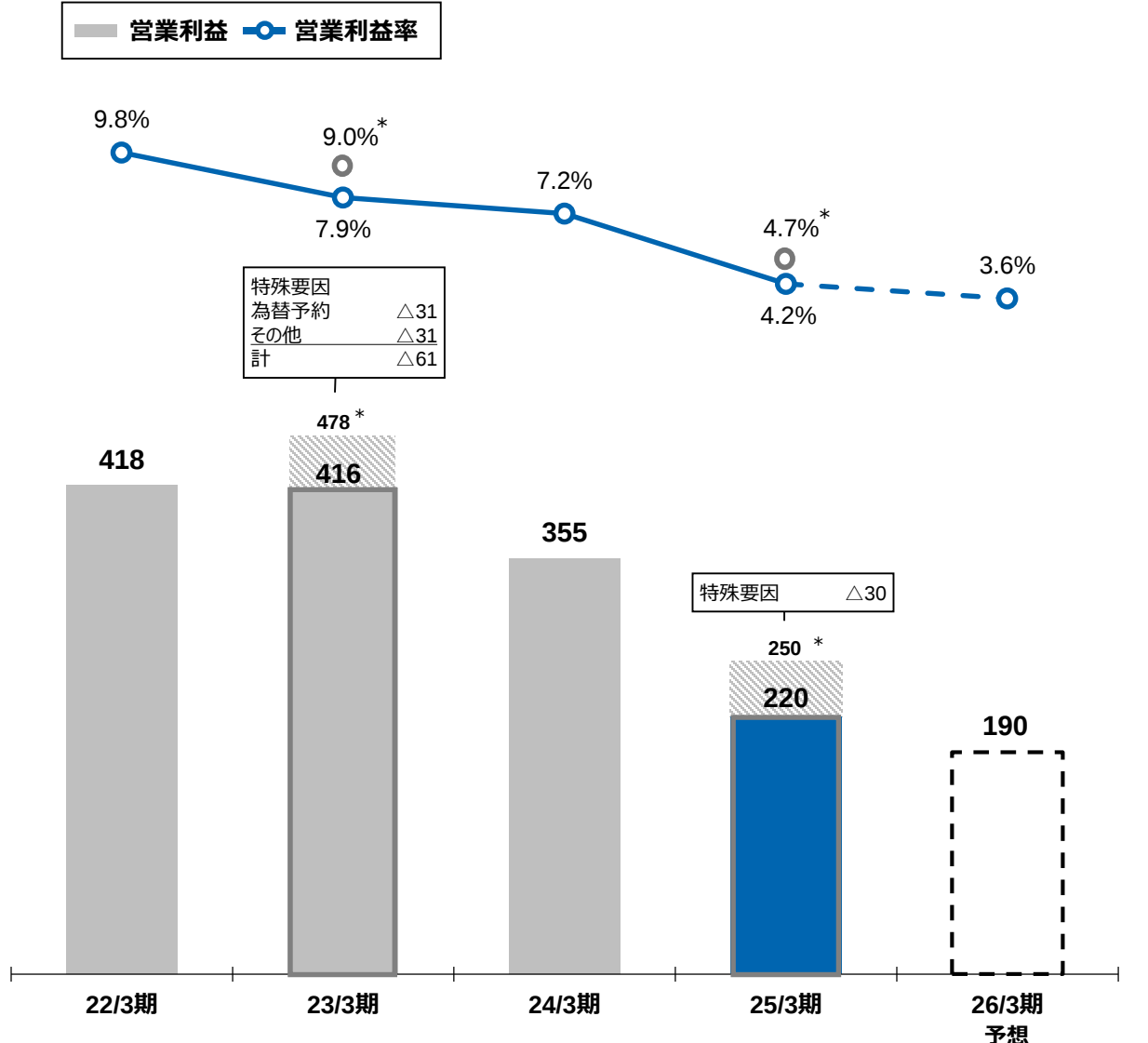


# セミコンダクタ&エレクトロニクス セグメント (SE)

売上高 (億円)



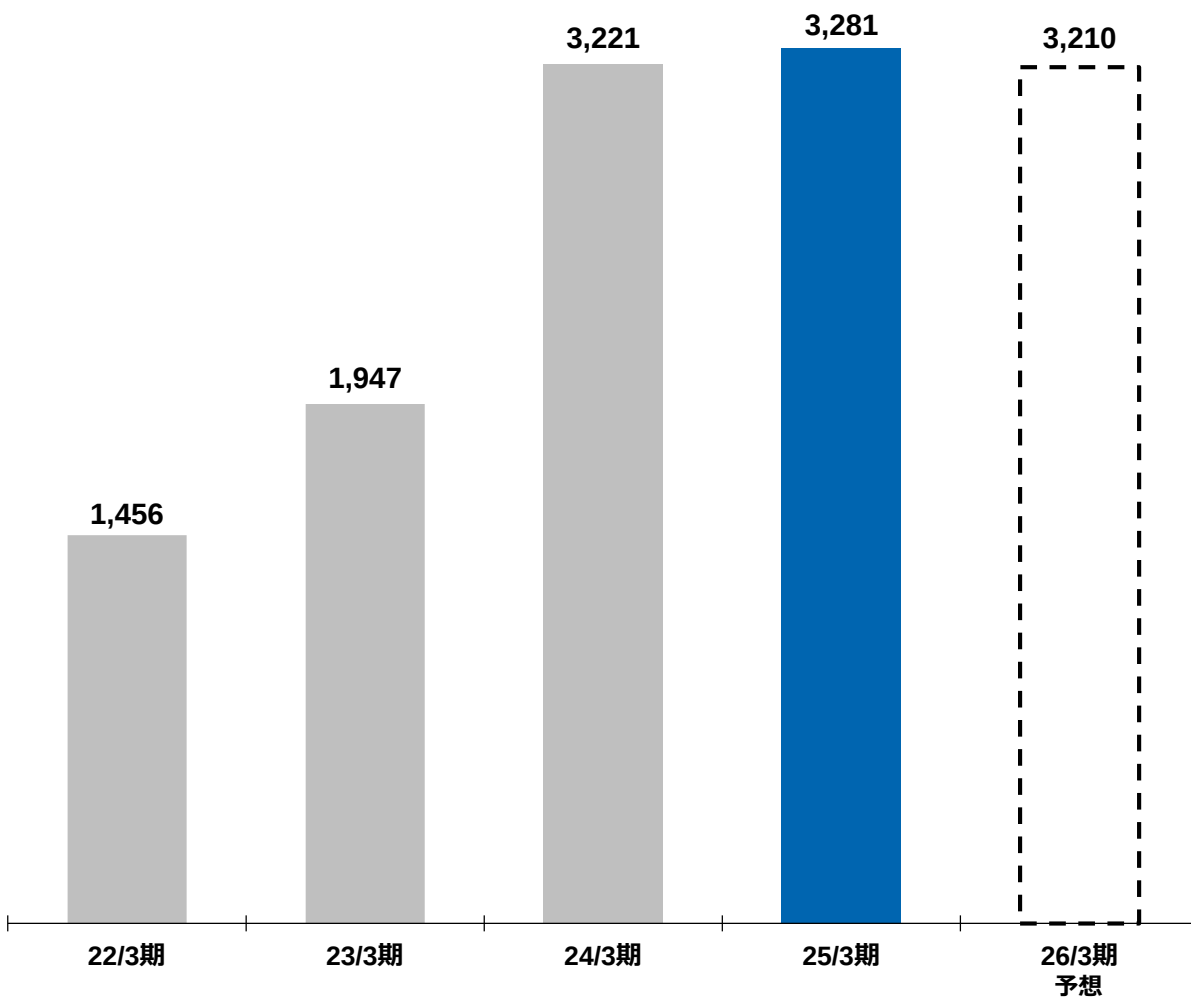
営業利益 (億円)



\*特殊要因除く

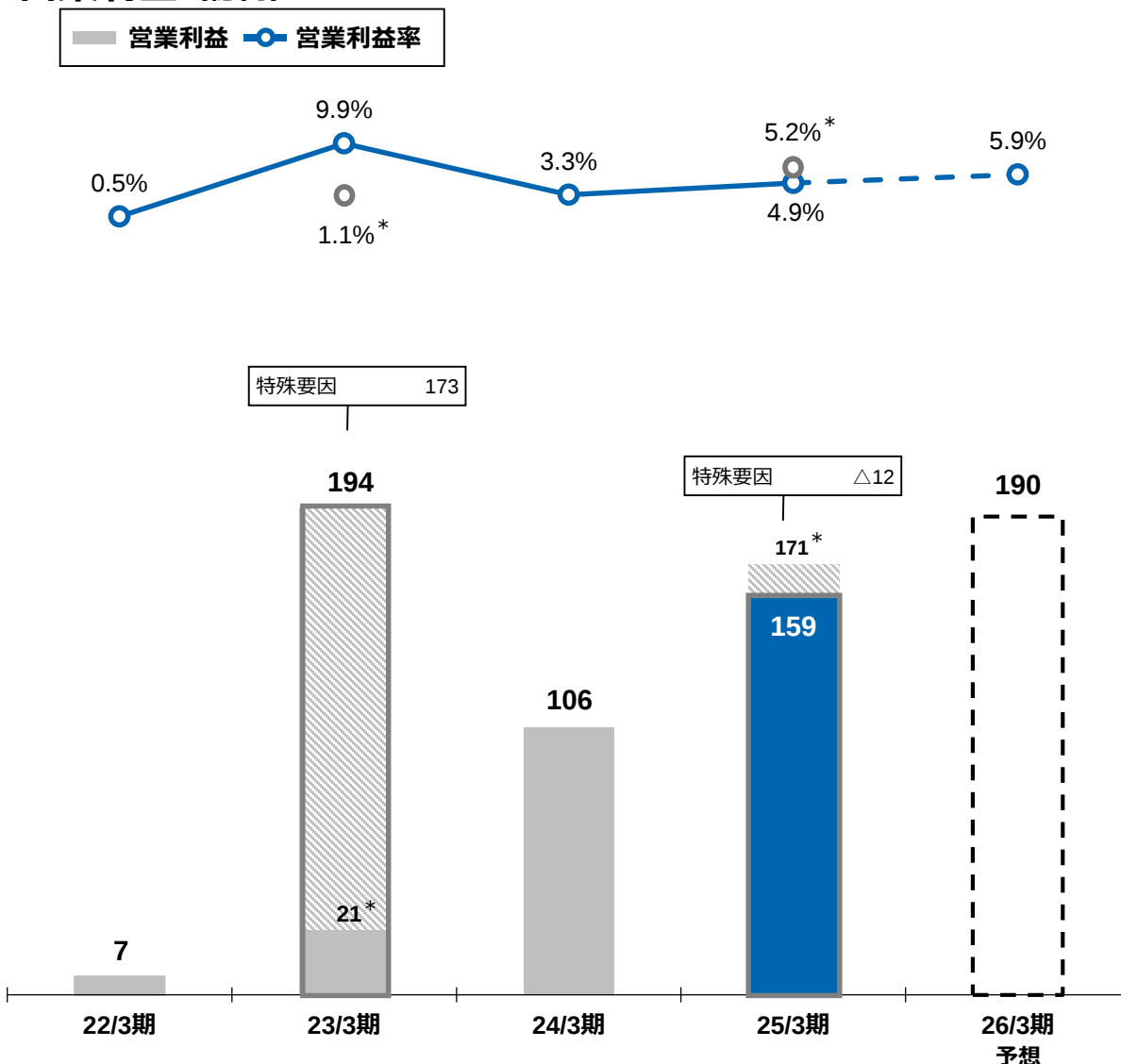
# アクセスソリューションズ セグメント (AS)

売上高 (億円)



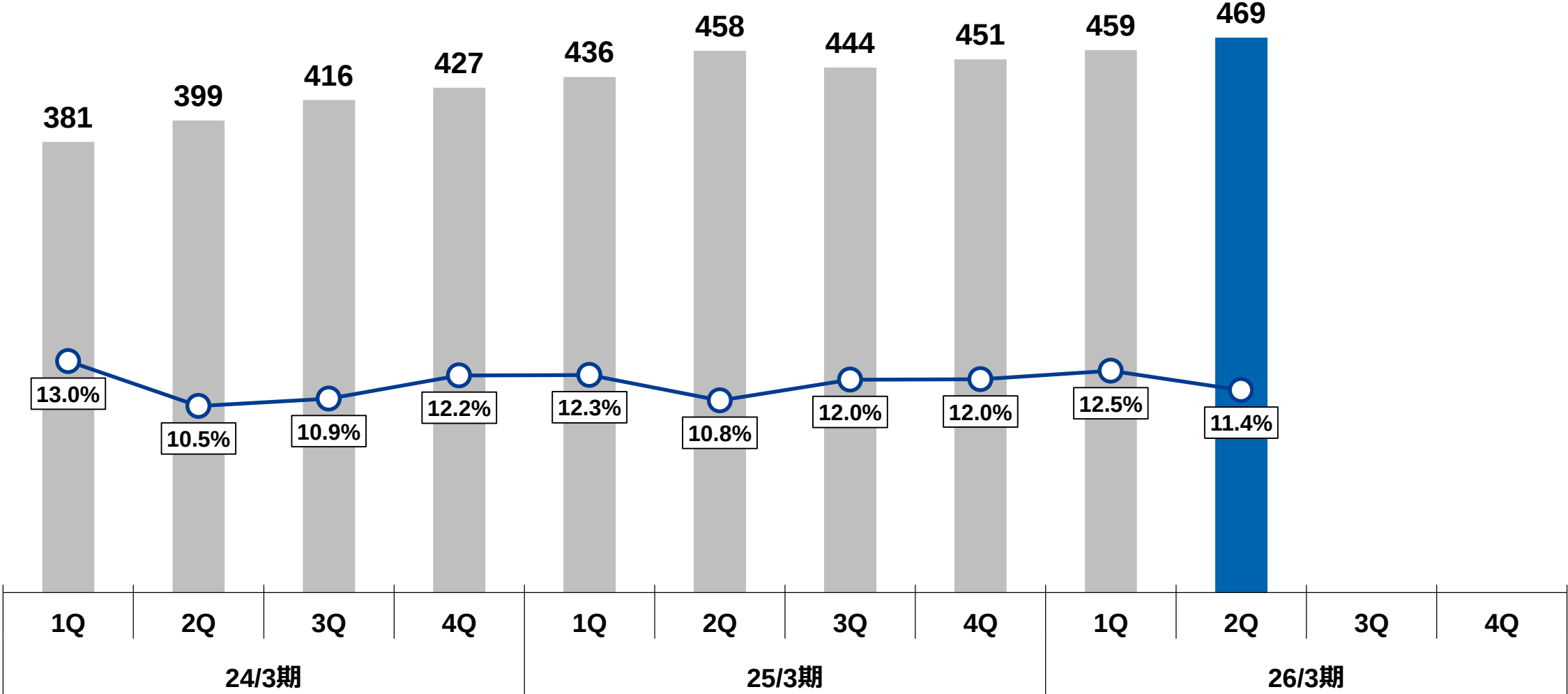
営業利益 (億円)

\*特殊要因除く



# 販管費

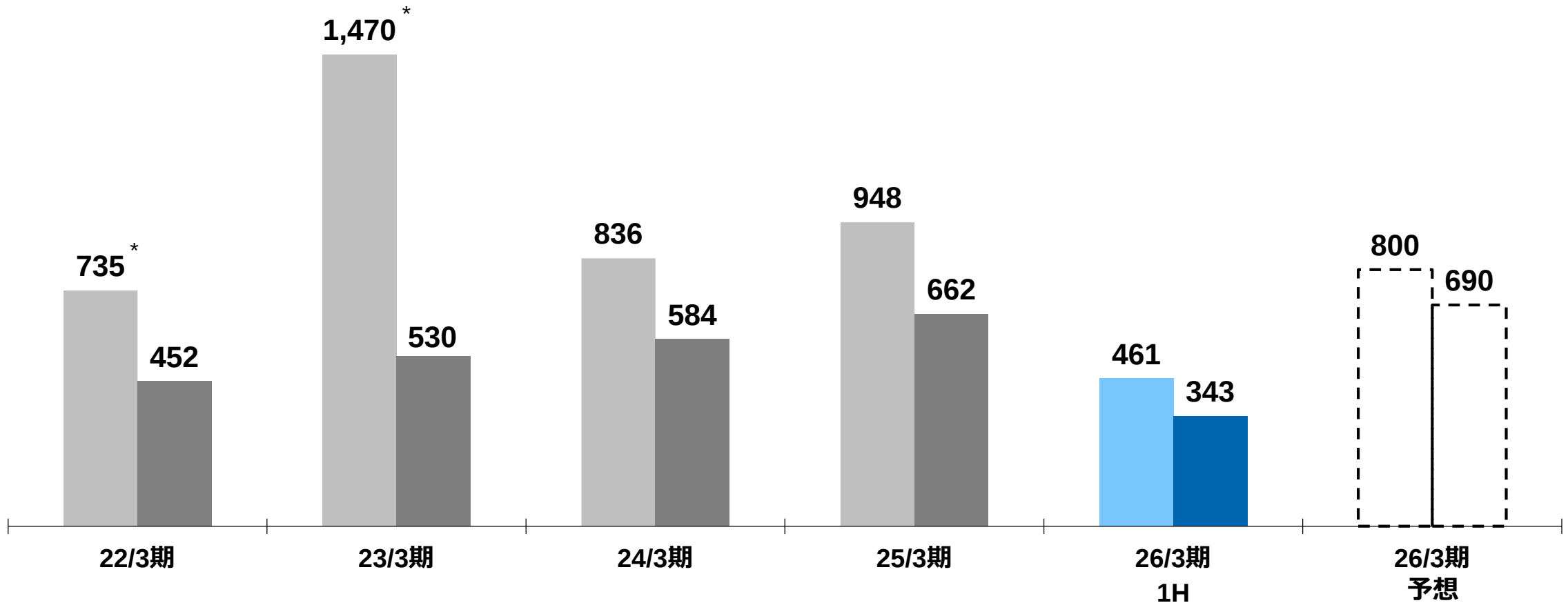
(億円)      ■ 販管費      ● 売上高販管費比率



# 設備投資額・減価償却費

(億円)

■ 設備投資額 ■ 減価償却費



\*22/3期、23/3期の設備投資額には、新本部ビル取得費用が含まれています。

# ROIC（投下資本利益率）

ミネベアミツミ版  
ROIC

=

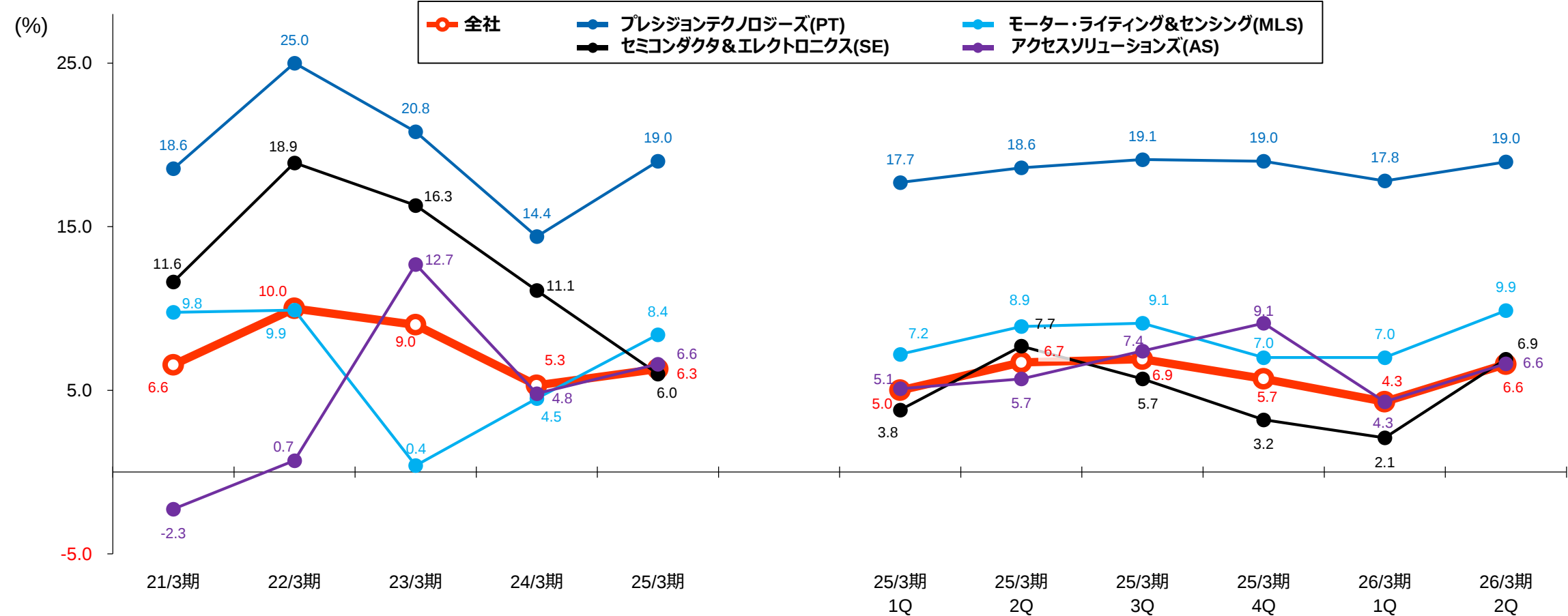
NOPAT

営業利益 × (1 - 税率)

投下資本

(受取手形・売掛金 + 棚卸資産 + 固定資産 - 支払手形・買掛金)

セグメント別で管理できる事業資産（売上債権・債務、棚卸資産、固定資産）で算出



※2025年3月期実績につき、セグメント変更による組み換えは考慮していません